

DENSO

取扱説明書

V2H- 充放電器
DNEVC-D6075

このたびは、V2H- 充放電器をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただいたうえで、正しくお使いください。

もくじ

V2H- 充放電器の特徴	6
V2H- 充放電器に備えられている機能	6
運転機能のご紹介	6
操作種類のご紹介	7
安全のために必ずお守りください	8
取り扱い上のお願ひ	11
各部の名前と働き	13
本体	13
充放電コネクタ	14
通信アダプタ	14
無線接続タイプ	14
有線接続タイプ	15
操作パネル	15
12V 電源ケーブル	16
充放電コネクタ緊急離脱工具（取扱説明書付）	16
ご使用になる前の準備	17
通信アダプタの接続	17
接続方式を確認する	17
無線接続（ルーター経由）を行う	18
有線接続を行う	19
EVPS controller アプリの設定	20
リモコンアプリをインストールする	20
接続方式を確認する	20
無線接続（ルーター経由）方式でアプリを設定する	20
無線接続（直接接続）方式でアプリを設定する	21
有線接続方式でアプリを設定する	23

車両と接続 / 取り外しをする	24
車両に接続する	24
車両から取り外す	25
充電 / 放電をする	26
充電する前に	26
充電を開始する	26
充電を停止する	27
放電する前に	28
放電を開始する	28
放電を停止する	28
タイマー予約操作をする	30
本体でタイマーを設定する	30
タイマー時間の上限値	32
スマートフォンでタイマーを設定する	32
タイマー運転中に運転を停止する	32
タイマー設定時間中に動作を再開する	33
タイマー予約の優先度	34
グリーンモードタイマー	34
停電時に使用する（停電時自立運転）	35
車両への充電中に停電したら	35
車両からの放電中に停電したら	35
待機中に停電したら	35
停電時自立運転する前に	35
停電時に自立運転を開始する	36
自立運転時に太陽光発電がある場合	37
停電時に自立運転を停止する	37
停電時に使用する場合の注意事項	38
待機中に停電が復旧したら	38
自立運転中に停電が復旧したら	38

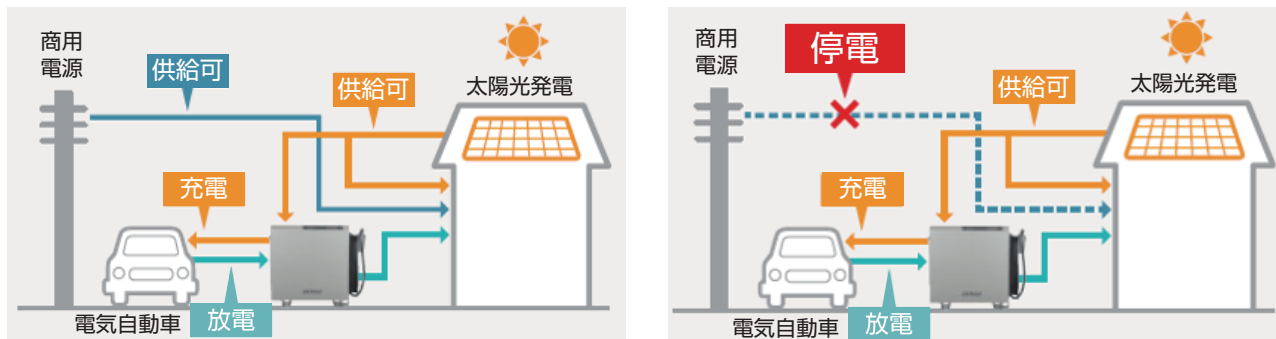
設定する	39
本体で設定する	39
タイマー充電設定（設定番号：A、A1、A2）.....	39
グリーンモード設定（設定番号：b、b 1、b 2）.....	39
タイマー放電1 設定（設定番号：c、c 1、c 2）.....	39
タイマー放電2 設定（設定番号：d、d 1、d 2）.....	39
充電停止充電率設定（設定番号：01）.....	40
放電停止充電率設定（設定番号：02）.....	40
本体時刻設定（設定番号：03）.....	40
PV 余剰充電とは	40
PV 余剰充電設定（設定番号：04）.....	40
復電時放電継続設定（設定番号：05）.....	40
HEMS 連携機能設定（設定番号：06、07）.....	40
余剰電力充電停止充電率設定（設定番号：08）.....	41
充電動作を停止する充電率設定について	41
本体ロック設定.....	41
スマートフォンで設定する.....	42
データを表示する	44
本体で表示する	44
スマートフォンで表示する.....	45
その他の操作	47
電源を入れる.....	47
電源を切る.....	47
非常停止する.....	47
非常停止から復帰する	47
システムリセットする	47
EVPS controller アプリについて	48
アプリの設定を行う	48
リモコンアプリの利用をやめる.....	48
ご注意事項.....	49
車種ごとの注意事項	49

こんなときは	50
コネクタがロックできない.....	50
運転しない / できない	50
ボタンを押しても反応が無い.....	50
ボタンを押すとすべてのLEDが2回短く点滅する.....	50
運転開始するがすぐに停止する.....	50
しばらくすると停止している.....	51
充電電力が少ない.....	51
放電電力が少ない.....	51
放電中に充電する.....	51
グリーンモードで電池残量が増えない / 減る.....	51
ブレーカが頻繁に落ちる.....	51
契約電力を変更する場合.....	51
100%まで充電できない.....	52
車両が満充電後、すぐに放電できない.....	52
充放電コネクタが取り外せなくなった場合.....	52
エラーコードが表示された.....	53
リモコンアプリでペアリングができない.....	54
リモコンアプリで表示ができない.....	54
HEMSから操作ができない.....	56
保証とアフターサービス	57
保証について.....	57
お客様ご相談窓口.....	57
機器仕様	58
本体仕様.....	58
通信アダプタ仕様.....	59
機器外観図.....	59
本体.....	59
通信アダプタ（無線接続タイプ）.....	60
通信アダプタ（有線接続タイプ）.....	60

V2H- 充放電器の特徴

「V2H」とは「Vehicle to Home」の略で、太陽光発電の電力をV2H機器経由で電気自動車に蓄えて、ご家庭の電気として使用する仕組みです。

- 通常時には電力会社からの電力や太陽光で発電した電力を車両に充電し、電力使用量の多い時間帯には車両に蓄えられた電力を取り出し、家庭負荷に供給することでピークカットが可能となります。
- 災害時などの停電の際には車両に蓄えられた電力を取り出し、家庭に供給することが可能となります。



V2H- 充放電器に備えられている機能

運転機能のご紹介

充電機能 (26 ページ)

太陽光発電の電力または系統からの電力を車両に充電させる機能です。

放電機能 (PV 余剰充電機能 ON) (28 ページ、40 ページ)

車両に蓄えられた電力を取り出し、家庭に放電 (給電) させる機能です。

太陽光発電 (PV) がある場合、太陽光発電の余剰電力※が発生したときに、売電せずに車両に充電するように自動的に切り替わります。(シームレス制御)

放電機能 (PV 余剰充電機能 OFF) (28 ページ)

車両に蓄えられた電力を取り出し、家庭に放電 (給電) させる機能です。

太陽光発電 (PV) がある場合、太陽光発電の余剰電力※が発生したときに、余剰電力を電力系統に売電します。

タイマー充電機能 (30 ページ)

タイマーを設定すると毎日設定した時間に充電の開始 / 停止を行います。

タイマー放電機能 (30 ページ)

タイマーを設定すると毎日設定した時間に放電の開始 / 停止を行います。

グリーンモード (34 ページ)

タイマー設定の時間範囲内で、太陽光発電の余剰電力が大きいときに車両に充電を行います。

車両の電池残量を減らしたくない時 (放電 (給電) しない) におすすめです。

停電時自立運転機能 (35 ページ)

停電時に、車両に蓄えられた電力を取り出し、家庭に供給します。

※余剰電力 = PV 発電電力 - 家庭消費電力

操作種類のご紹介

本体手動操作

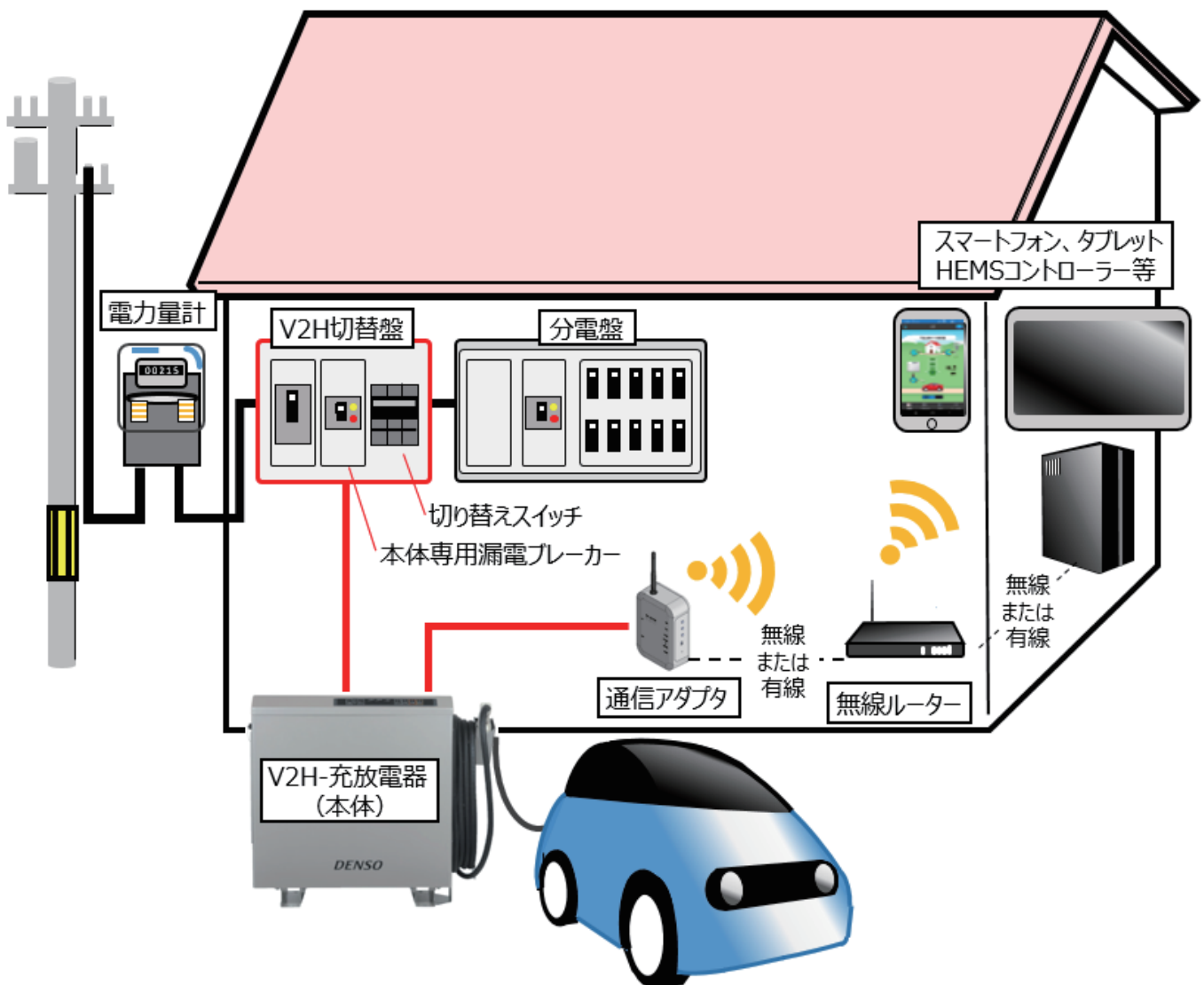
本体スイッチの操作で、お好みの時間帯に充電、放電、停止、コネクタロック操作が行えます。

スマートフォン手動操作

お手持ちのスマートフォンに専用アプリをインストールすることで、室内から充電、放電、停止、コネクタロック操作が行えます。
(お住まいの環境や、電波状況によりルーターや中継器の設置が必要になる場合があります)

HEMS 操作

ご家庭に設置された HEMS コントローラーから V2H-充放電器に指令を送信することで、本体を自動的に制御することができます。





システム全体図

安全のために必ずお守りください

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- お読みになられた後も、ご利用される方がいつでも参照できるところに必ず保管してください。

ここに示した事項は、△警告 △注意に区分しています。

 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される事項。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が重傷を負う危険が想定される事項、および物的損害のみの発生が想定される事項。

絵表示については次のような意味があります。

	*必ずアース線を接続 安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続して接地をとるように指示する表示		*感電注意 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告
	*一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告		*分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告
	*一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示		

警告



ペースメーカー・ICD をご使用の方へ

充電中、放電中は
近づかないでください

ペースメーカーおよびICDの
動作に一時的な影響を与える
場合があります



取付工事・修理・移動・再設置・破棄はお買い上げ
の販売会社に依頼する
不備があった場合、感電や火災のおそれがあります。



人命に直接かかわる医療機器などは接続しない
身体の安全を損ねる場合があります。



分解・改造しない
感電や障害を負うおそれがあります。



蹴ったりして強い衝撃を与えない
変形して短絡し、発熱・発火・破裂・火災のおそれ
があります。



子供を近づけない
感電・やけど・火災のおそれがあります。



吸排気口などに物（金属、紙、水など）を差し込んだり
中に入れたりしない
火災・感電・故障の原因となります。

警告



本製品のフロントパネルなど機器を開けない
内部に電圧の高い部分があります。感電のおそれがあります。



お子様に操作させない
感電、やけど、火災のおそれがあります。



本製品の上に乗ったり、座ったり、コネクタホルダにぶらさがったり、物を置かない
機器が変形・脱落し、けが・感電・故障のおそれがあります。



充放電コネクタの金属接点に触れたり、なめたりしない
高い電圧が加わり感電のおそれがあります。



充放電ケーブルを踏む、上に物を置く、ひきするなどしない
ケーブルが損傷し、火災や感電のおそれがあります。



充放電コネクタを引っ張らない、無理な力を加えない
装置が破損して、感電・故障の原因になります。



温泉・火山等、腐食性ガスがかかる場所には設置しない
装置が破損する原因となります。



本製品の近くで可燃性ガスや引火物を近くに置かない (60cm 以内)
電気部品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火するおそれがあります。



煙が出る、変なにおいがする場合は、本製品には近づかず、分電盤の本製品用漏電ブレーカを「OFF」にする
そのまま使用すると、火災の原因となります。すみやかに販売会社にご連絡ください。



充放電コネクタを車両に接続する場合は、ぬれないようにする
感電・故障のおそれがあります。



充放電コネクタをぬれた手で触らない
感電のおそれがあります。



充放電コネクタを落下させない
装置が破損して感電や火災の原因となります。



落雷のおそれがあるときや、雷が鳴り出したときは使用しない
落雷による感電などのおそれがあります。

注意



アース工事を行う (C 種接地工事 接地抵抗 500 Ω 以内)
アースが不完全な場合、感電のおそれがあります。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。
アース工事については必ずお買い上げの販売会社にご相談ください。



シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を含んだ布でふかない
製品の変色原因となります。



本システムの近くでテレビやラジオ、無線などを使用しない
テレビの画面が乱れる、ラジオ、無線に雑音が入ることがあります。
受信している電波の弱い場所では、電磁障害を受けるおそれがあります。



吸排気口を塞いだり吸排気口付近に荷物を置いたりしない
温度上昇により本体が自動停止する可能性があります。



通信アダプタをぬれた手でさわると、ぬれた布でふくなどしない
感電の原因となる可能性があります。



本製品の近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない
引火し、やけど・火災の原因となることがあります。



動作中に車両を移動させない
装置が破損して感電の原因となります。



夏季の高温時や冬季の低温時に、充放電コネクタ及び本体に素手でさわらない
火傷の原因となります。



廃棄処理・リサイクルについて
使用後、すみやかに廃棄してください。廃棄する場合は、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。
廃棄費用はお客様負担となります。



使用後、充放電コネクタをコネクタホルダに収納する
感電、火災、けがの原因となります。また、車両が充放電コネクタに乗り上げてコネクタを破損するおそれがあります。

注意



本システムや太陽光発電パネルの配線などから発生する電氣的雑音が、近隣のアマチュア無線通信やラジオなどの受信に影響を与えることがあります。



エラーコードが連続的に表示されている状態のまま放置しない



落雪などで本体の吸排気口が塞がらないよう設置状況により防雪・雪囲いなどの処置を行う
温度上昇により本体が自動停止する可能性があります。



本体の周りに毛布などを置かないようにし、本体の周りにスペースを確保する
本体が高温になり、動作が停止する、または寿命が短くなる可能性があります。



車両に接続しない場合、充放電コネクタはコネクタホルダに正しく格納する
破損のおそれがあります。



植物などが本体の吸排気口から内部に侵入しないように、日常点検を行う
温度上昇により本体の自動停止、または破損の可能性がります。



機器に異常、破損、腐食、錆、ネジゆるみ、通気口ふさが、スイッチ破損、アンカーボルトのゆるみ、等が無いが日常点検をする
装置の故障の原因となります。



充放電コネクタケーブル、12V 電源ケーブルに引っ掛からないようにする
転倒、けがの原因となります。



地震により転倒したり水没した場合は、不用意に近づいたり、触らないで、点検を受けてください
電気配線に異常がある場合は、火災・感電・故障の原因となります。



充放電コネクタケーブル、12V 電源ケーブルに、ぶら下がらない
装置が破損して感電や火災の原因となります。



装置を高圧洗浄機で洗浄しない
感電や故障の原因となります。

取り扱い上のお願い

共通

■次のような場所には取り付けない

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 標高 2000 m より高いところ<input type="checkbox"/> 岩礁隣接地域<input type="checkbox"/> 重塩害地域<input type="checkbox"/> 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ<input type="checkbox"/> 振動、衝撃の影響が大きいところ<input type="checkbox"/> 油蒸気のあるところ<input type="checkbox"/> 浸水のおそれがあるところ<input type="checkbox"/> 電界の影響が大きいところ<input type="checkbox"/> 風通しが悪いところ<input type="checkbox"/> 結露および氷結のあるところ | <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 次の温度範囲以外のところでは、動作を停止することがあります。
温度：- 20℃～+ 40℃
(温度範囲に戻ると、自動復帰します)<input type="checkbox"/> 建物の屋根等から雪庇、つらら等が落下するところ<input type="checkbox"/> 積雪がある地域 <p>下記の対策を行うことで、取り付けが可能となります。</p> <ul style="list-style-type: none">・雪囲いや、雪が積もったり、吹き込んだりしない場所への設置等、積雪への対応を行ってください。・雪囲いを設置する場合は、本体の周りにスペースを確保してください。 <p>特に、本体の吸排気口を塞がないようにしてください。</p> |
|---|--|

停電時自立運転で使用可能な機器について

- 人命にかかわる医療機器（人工心肺装置等）へのご使用はできません。
 - 閉じ込められるおそれがあるため、停電時にエレベーターは使用しないでください。
 - 停電時（自立運転時）は、セキュリティ機器は使用しないでください。セキュリティが誤動作を起こす可能性があります。
 - サーバ機器には使用しないでください。データ保証ができません。
 - 突入電流の大きい電化製品（容量の大きいエアコン、洗濯機、大型 IH コンロ、大型電子レンジ、大型乾燥機、瞬暖機能付き温水便座、井戸水ポンプ等）については、ご使用を控えてください。
- ※ 上限を超えた場合、V2H の自立運転が停止します。
- ショールームなどの多数台で接続された LED 照明器具をご使用になる場合は、照明スイッチから徐々に ON していただくことを推奨します。
- ※ LED 照明の種類によっては突入電流が大きいため、定格より低い放電電力で停止する場合があります。

塩害の影響による設置可否について

本体が設置可能な場所を下表のように定めています。

本体は、「沖縄・離島以外の地域、かつ、重塩害以外の場所」であれば設置可能です。

地域による区分 塩害レベルによる区分	沖縄・離島	沖縄・離島以外の地域
重塩害	×	×
重塩害以外	×	○

○：設置可、×：設置不可

地域による区分について

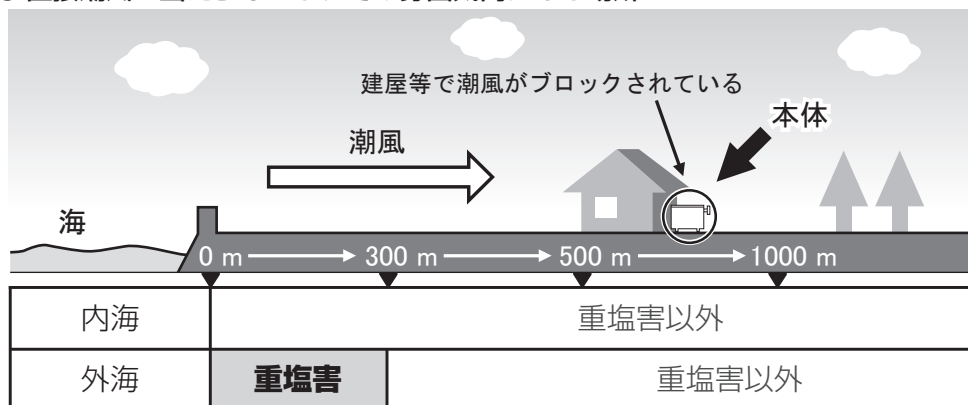
本書は、地域を「沖縄・離島」と「沖縄・離島以外の地域」で区分しています。

※離島：本土から離れ、四方を海で囲まれている島で内海に浮かぶ島は除く。(淡路島は離島から除く)

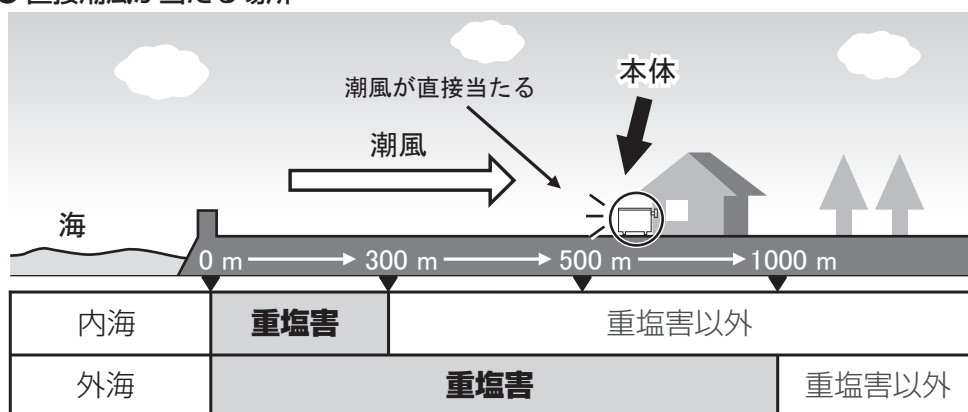
塩害レベルによる区分について

本書は、塩害レベルを下記のように「重塩害」と「重塩害以外」で区分しています。

● 直接潮風は当たらないが、その雰囲気内にある場所



● 直接潮風が当たる場所



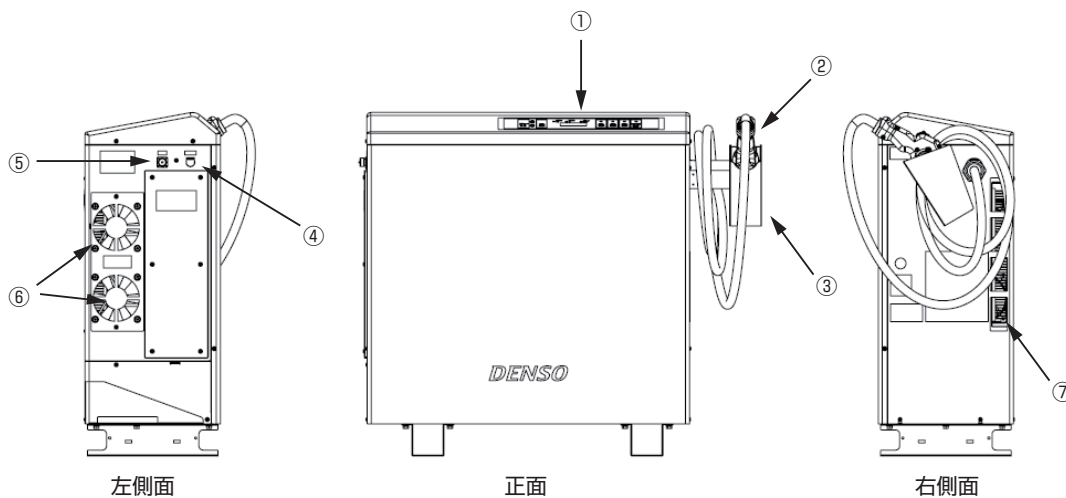
※内海：瀬戸内海、東京湾、伊勢湾

外海：内海以外の海

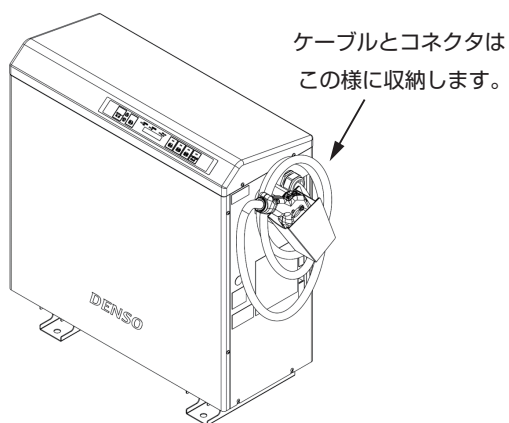
各部の名前と働き

本体

車両への充電、家庭への放電の切り替えを制御します。



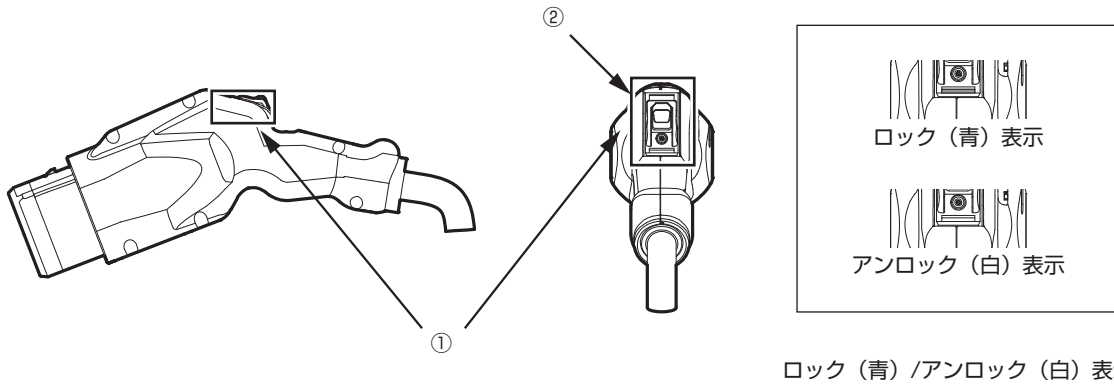
①	操作パネル	充電・放電の操作や各動作モードの設定を行います。
②	充放電コネクタ (ケーブル含む)	本体と車両を接続します。
③	コネクタホルダ	コネクタを収納します。
④	非常停止ボタン	充電・放電動作を非常停止させます。
⑤	12V IN	停電時に車両から本システムを起動する場合に必要な 12V 電源ケーブルの接続口です。
⑥	排気口	本体内部を冷却した空気を排出する口です。
⑦	吸気口	本体内部を冷却する空気を取り入れる口です。



ケーブル、コネクタ格納推奨方法

充放電コネクタ

車両の急速充電口に接続するコネクタです。このコネクタを介して車両と電力のやり取り（充電・放電）を行います。



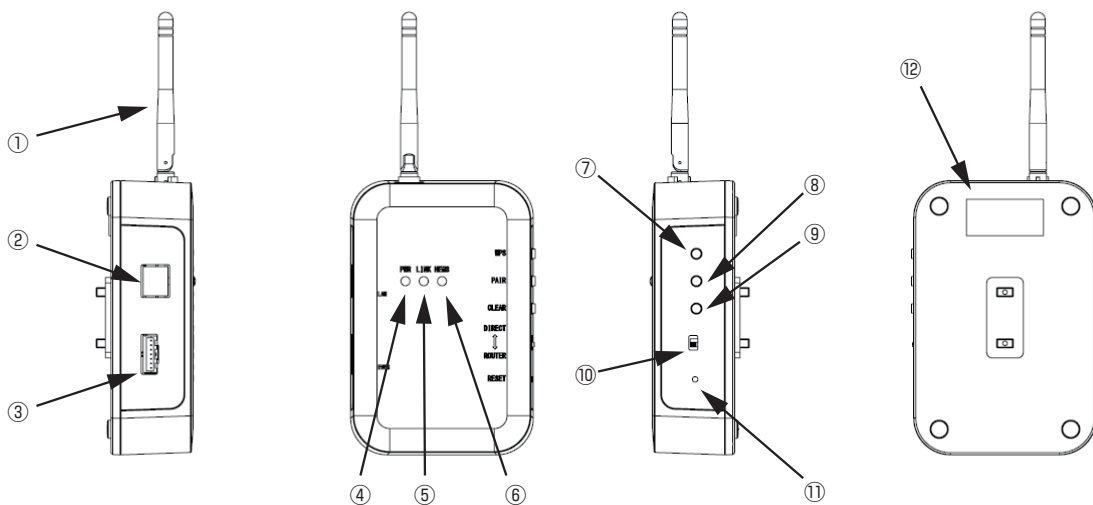
ロック (青) / アンロック (白) 表示

①	リリースボタン	ラッチの解除をします。
②	ロック表示	コネクタがロックされているかを表示します。

通信アダプタ

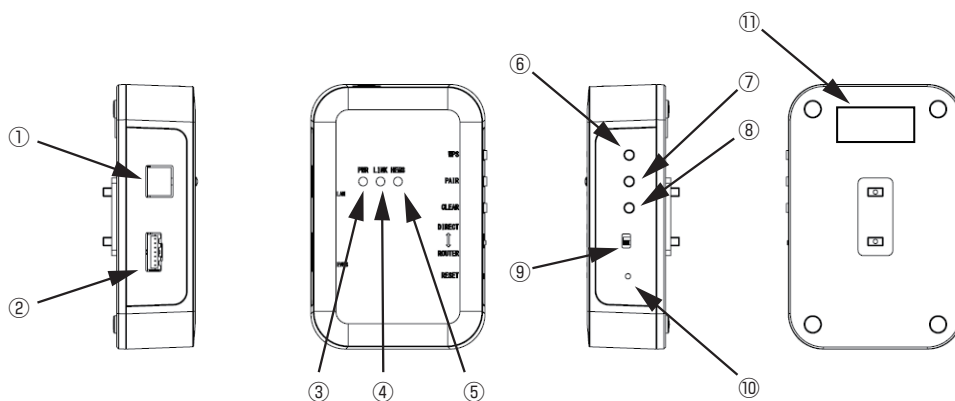
通信アダプタをご家庭の LAN と接続することで、HEMS 連携機能やスマートフォンの専用リモコンアプリをご使用いただけます。また、通信アダプタは設置仕様により無線接続タイプか有線接続タイプのどちらかを選択します。

無線接続タイプ



①	アンテナ	無線通信の送受信に使用します。
②	LAN 端子	ご家庭の LAN 環境に有線で接続する際の端子です。無線接続タイプでは使用しません。
③	通信コネクタ	本体に接続するコネクタです。
④	PWR LED	通信アダプタの電源が入っている時に点灯します。
⑤	LINK LED	LAN 通信が確立しているときに点灯します。
⑥	HEMS LED	HEMS 連携機能をご利用時点灯、または点滅します。
⑦	WPS	無線ルーターと WPS による接続処理をする際に使用します。
⑧	PAIR	スマートフォンと本体をペアリングする際に使用します。
⑨	CLEAR	ペアリング情報を削除する際に使用します。
⑩	スライドスイッチ	スマートフォンを無線ルーター経由で使用する場合はスライドスイッチを「ROUTER」の位置に移動させます。スマートフォンと通信アダプタを直接接続する場合は「DIRECT」に移動させます。
⑪	RESET	通信アダプタをリセットし再起動する際に使用します。
⑫	シリアルラベル	SSID、パスワードが記載されています。

有線接続タイプ

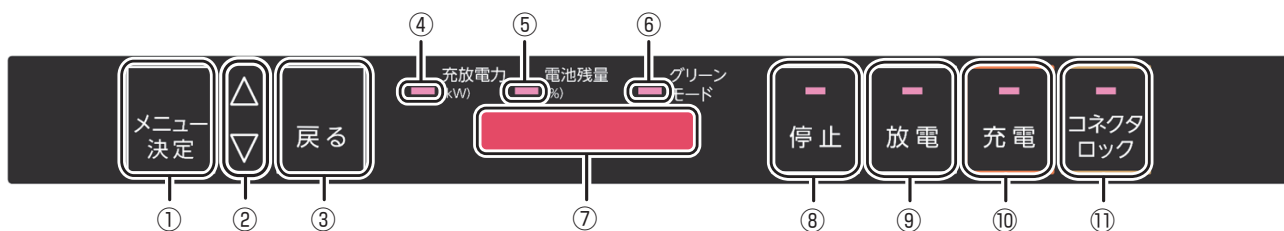


①	LAN 端子	ご家庭の LAN 環境に有線で接続する際の端子です。
②	通信コネクタ	本体に接続するコネクタです。
③	PWR LED	通信アダプタの電源が入っている時に点灯します。
④	LINK LED	LAN 通信が確立しているときに点灯します。
⑤	HEMS LED	HEMS 連携機能をご利用時点灯、または点滅します。
⑥	WPS	無線ルーターと WPS による接続処理をする際に使用します。
⑦	PAIR	スマートフォンと本体をペアリングする際に使用します。
⑧	CLEAR	ペアリング情報を削除する際に使用します。
⑨	スライドスイッチ	スマートフォンを無線ルーター経由で使用する場合はスライドスイッチを「ROUTER」の位置に移動させます。スマートフォンと通信アダプタを直接接続する場合は「DIRECT」に移動させます。
⑩	RESET	通信アダプタをリセットし再起動する際に使用します。
⑪	シリアルラベル	SSID、パスワードが記載されていません。

メモ

- 本体と通信アダプタは付属の専用線で接続します。通信アダプタとルーター間を LAN で接続します。
- 有線接続の場合は、通信アダプタにアンテナは付属していません。

操作パネル



①	[メニュー / 決定] ボタン	設定画面の表示、設定の決定を行います。
②	[選択] ボタン	設定の選択を行います。
③	[戻る] ボタン	現在の設定から戻ります。
④	充放電力 LED	充電電力・放電電力を表示している際に点灯します。
⑤	電池残量 LED	車両の電池残量を表示している際に点灯します。
⑥	グリーンモード LED	PV が発電した電力で充電している際に点灯します。
⑦	表示部	操作状況やデータの表示を行います。
⑧	[停止] ボタン	運転状態の停止を行います。
⑨	[放電] ボタン	放電操作を行います。
⑩	[充電] ボタン	充電操作を行います。
⑪	[コネクタロック] ボタン	コネクタのロックやロック解除を行います。

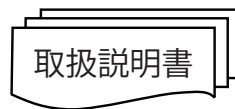
12V 電源ケーブル

停電時に車両と本体間を接続するケーブルです。(長さ 12 メートル)



充放電コネクタ緊急離脱工具 (取扱説明書付)

充放電コネクタが取り外せなくなった緊急時に使用します。



ご使用になる前の準備

通信アダプタの接続

通信アダプタをご家庭の LAN と接続すると、HEMS 連携機能やスマートフォンの専用リモコンアプリをご使用いただけます。HEMS 連携機能やスマートフォン専用リモコンアプリをご使用にならない場合、以下の設定は不要です。本体設置時に通信アダプタの接続を行っている場合があります。接続の有無が不明な場合は設置業者にお問い合わせください。

接続方式を確認する

通信アダプタの接続方式にはいくつかの種類があります。以下の表に従って接続方式を確認してください。

通信アダプタの種類	ご家庭のルーター	接続方式
有線接続タイプ	あり	有線接続 (19 ページ)
無線接続タイプ	あり	無線接続 (ルーター経由) (18 ページ) ※ルーターは WPS に対応している必要があります。
	なし	無線接続 (直接接続) (21 ページ) (スマートフォンと直接接続します) ※ HEMS 連携機能はご使用になれません。

メモ

同じネットワーク内に設置できる通信アダプタは 1 台のみです。複数の通信アダプタを設置するとリモコンアプリが正常に利用できません。

無線 LAN (Wi-Fi) ご使用上の注意

- 無線 LAN は電波を使ってデータを送受信するため、盗聴や不正なアクセスを受けるおそれがあります。無線 LAN ご使用にあたっては、その危険性を十分にご理解いただいたうえ、暗号化されたルーターに接続してご使用ください。
- 万一不正なアクセスをうけた可能性がある場合は、通信アダプタのコネクタを取り外してください。
- リモコンアプリをルーター経由で使用する場合は、プッシュ方式 WPS、DHCP 機能、(Wi-Fi 仕様の場合 802.11b/g/n、2.4 GHz 帯) に対応したルーターが必要です。

スマートフォン接続に関する注意

有線接続または無線接続 (ルーター経由) の場合

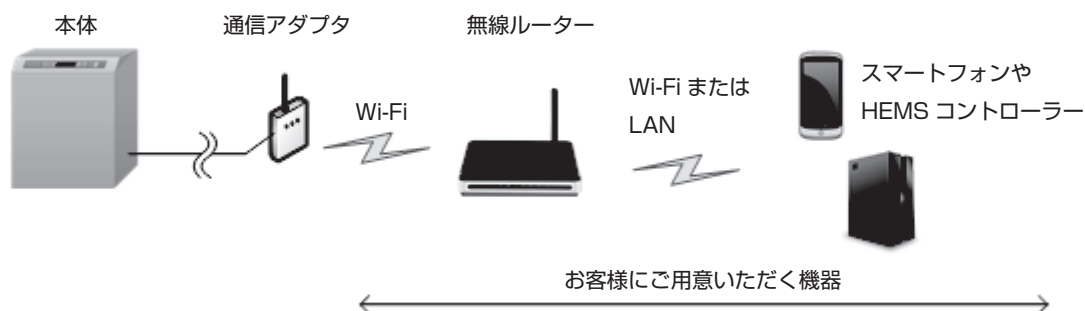
- マルチキャスト通信を使用するため、ルーターやアクセスポイントの設定の変更が必要になる場合があります。
- ルーターやアクセスポイントの「セパレーター機能」を使用したり、「ゲスト SSID」に接続したりしないでください。
- インターネットに接続されていないルーターの場合、Android OS の仕様により、一部のスマートフォンでは Wi-Fi を使用せずにモバイル通信を使用する場合があります。この場合、機内モードにしてから Wi-Fi を ON にするなどの手順で、モバイル通信を OFF にする必要があります。
- ルーターの機種によっては上記設定を行っても通信が不安定になったり途絶したりする場合があります。

無線接続 (直接接続) の場合

- 通信アダプタとスマートフォンを接続中はスマートフォンからインターネットに接続できません。インターネットをご利用になる場合は Wi-Fi を OFF するなどしてからご利用ください。また、再度リモコンをご使用になる場合は Wi-Fi で通信アダプタに接続してからリモコンアプリを起動してください。
- 通信アダプタはインターネットに接続されていないので、Android OS の仕様により、一部のスマートフォンでは自動的にモバイル通信を使用する場合があります。この場合、機内モードにしてから Wi-Fi を ON にするなどの手順で、モバイル通信を OFF にする必要があります。

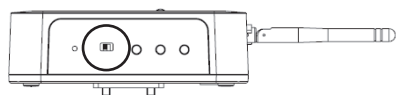
無線接続（ルーター経由）を行う

下図に示すように無線 LAN（Wi-Fi）で接続します。



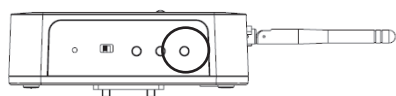
1 通信アダプタのスライドスイッチを ROUTER にする

ROUTER ⇄ DIRECT



2 通信アダプタの WPS ボタンを長押しする

WPS



通信アダプタの WPS ボタンを、LINK LED が点滅を始めるまで（約 6 秒）長押ししてください。

3 接続先ルーターの WPS ボタンを押す

お持ちのルーターの WPS ボタンを長押しして WPS モードを開始してください。

メモ

どのボタンを使用するかについてはルーターの取扱説明書をご確認ください。機種によってはボタン名称が異なる場合があります。

4 通信アダプタの LINK LED 点灯を確認する

WPS による接続処理が完了すると通信アダプタの LINK LED が点灯に変わります。

参考情報

通信アダプタの LINK LED が点灯に変わる前に数秒から十数秒間消灯することがあります。

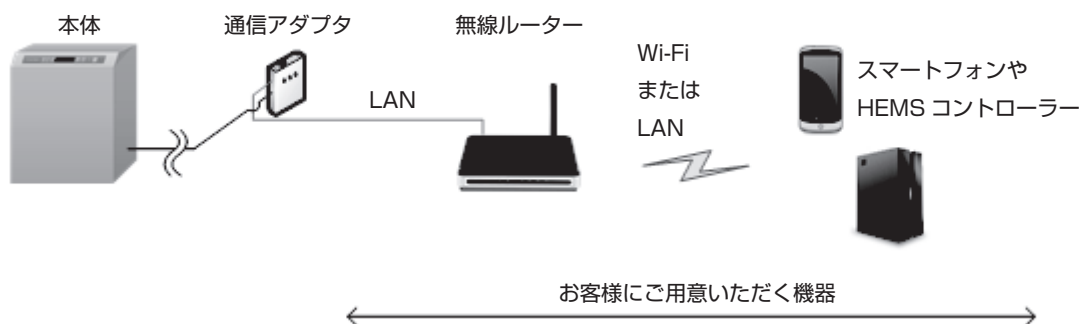
ルーターによっては WPS の処理に 1 分半から 2 分間かかります。

メモ

- 接続に失敗する場合は以下の点に注意して数回繰り返してください。
 - 通信アダプタとルーターの距離を近づける。
 - 通信アダプタの WPS ボタンを押した後、すぐにルーターの WPS ボタンを押す。
 - 通信アダプタとルーターの両方が WPS モードになっていることを確認する。
 - LINK LED 消灯後に再度 WPS ボタンを押しても LINK LED が点滅しない場合があるので、その場合は 2 分程度待ってから再試行する。
- HEMS 連携機能をご利用になるには HEMS コントローラー機器と同じネットワークに接続する必要があります。
- HEMS 連携機能をご利用になる場合、HEMS LED が点灯または点滅しているか確認してください。消灯している場合は設定を変更してください。（40 ページ）

有線接続を行う

下図に示すように有線 LAN で接続します。



1 通信アダプタに LAN コネクタを接続する

通信アダプタの有線 LAN ポートに LAN ケーブルを接続してください。

接続後、LINK LED が点灯します。

メモ

- 接続にはご家庭の LAN 環境に DHCP サーバー機能が必要です。
- LINKLED が点滅状態のままの場合、IP アドレスの設定に失敗しています。お手持ちのルーターなどの設定から DHCP サーバー機能が有効になっているかご確認ください。
- HEMS 連携機能をご利用になるには HEMS コントローラー機器と同じネットワークに接続する必要があります。
- HEMS 連携機能をご利用になる場合、HEMS LED が点灯または点滅しているか確認してください。消灯している場合は設定を変更してください。(40 ページ)

EVPS controller アプリの設定

お手持ちのスマートフォンに専用リモコンアプリ「EVPS controller」をインストールすると、アプリから本体の状態を確認したり、操作したりすることができます。専用リモコンアプリを使用するには通信アダプタが必要です。(宅外から操作をすることはできません)

リモコンアプリをインストールする

GooglePlay と AppStore から専用リモコンアプリを無料でダウンロードできます。(ダウンロードには通信費用が発生することがあります)

Android の場合

- ① Google Play を開く
- ② EVPS controller を検索する
- ③ 画面に従ってインストールする



ダウンロード画面例

iOS (iPhone) の場合

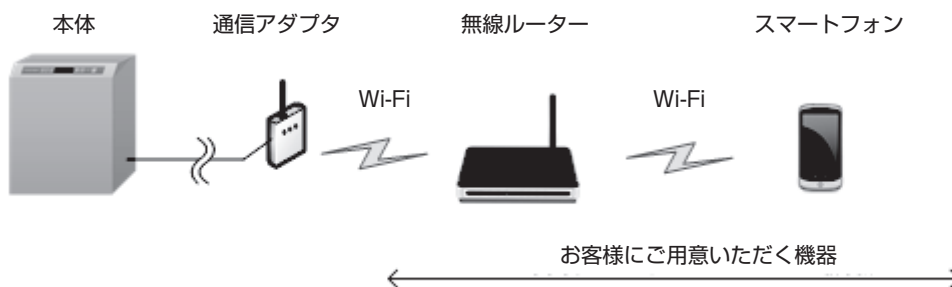
- ① App Store を開く
- ② EVPS controller を検索する
- ③ 画面に従ってインストールする

接続方式を確認する

通信アダプタを接続する(17 ページ)に従って接続方式を確認してください。

無線接続 (ルーター経由) 方式でアプリを設定する

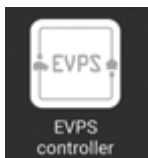
通信アダプタ (無線接続タイプ) をお持ちの場合に設定できます。接続例を以下に示します。



1 通信アダプタの LINK LED 点灯を確認する

通信アダプタの LINK LED が点灯していない場合は 17 ページを参照して通信アダプタを接続してください。

2 リモコンアプリを起動する



スマートフォンにインストールした「EVPS controller」を起動します。

3 接続方式を選択する



Android8 以前
[ルーター経由接続] をタップします。



Android9 以降
[本体と接続] をタップします。

4 アクセスポイントを選択する

お使いのスマートフォンがWi-Fi接続済みの場合は[接続済みのアクセスポイントを使用する]をタップしてください。

Wi-Fiに接続していない場合は[新たにアクセスポイントを検索する]を選択して手動接続を行ってください。(スマートフォンのWi-Fi設定画面に遷移します)

5 ペアリングを行う

画面に従って通信アダプタのPAIRボタンを、すべてのLEDが2回点滅するまで(約6秒)長押しした後、[OK]をタップしてください。

ペアリングに成功するとリモコンをご使用いただけます。

参考情報

本体にお使いのスマートフォンを記憶させるためペアリングを行います。ペアリング操作は初回接続時のみ必要です。

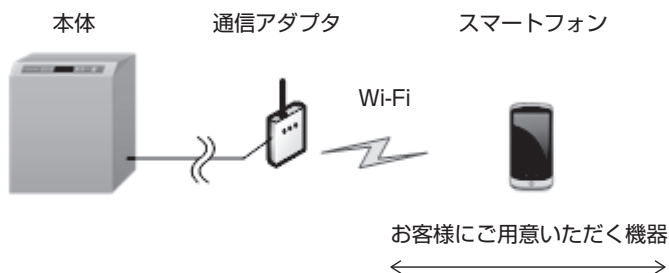
メモ

- ペアリングできるスマートフォンの上限数は4台です。ペアリング数が上限に達して新規にペアリングできない場合は、使用しないスマートフォンのペアリング情報を削除してください。(48ページ)
- 同じネットワーク内に設置できる通信アダプタは1台のみです。複数の通信アダプタを設置するとリモコンアプリが正常に利用できません。
- 通信アダプタに有線LANポートがありますが、使用できません。
- ペアリングできない場合は、スマートフォンのWiFi設定に、ルーターの2.4GHz帯ネットワークSSIDを設定してください。

無線接続(直接接続)方式でアプリを設定する

通信アダプタ(無線接続タイプ)をお持ちの場合に接続できます。接続例を以下に示します。この接続方式ではHEMSコントローラーを接続することができません。

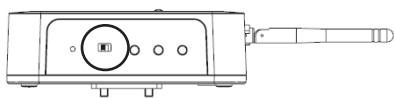
通信アダプタとの通信はルーター経由接続方式に比べて通信可能距離が短く、不安定になることがありますのでルーター経由接続方式を使用可能な場合はそちらをご利用ください。



Android8 以前の場合

1 通信アダプタのスライドスイッチをDIRECTにする

ROUTER ⇄ DIRECT

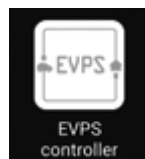


2 位置情報設定を行う

スマートフォンの位置情報設定をONにします。(位置情報へのアクセスはアプリがWi-Fi接続情報をスマートフォンに設定、表示するために使用します)一般的にスマートフォン設定画面から ロック画面とセキュリティ>プライバシー>位置情報 で確認・変更ができます。

不明な場合はお手持ちのスマートフォンメーカーにお問い合わせください。

3 リモコンアプリを起動する



スマートフォンにインストールした「EVPS controller」を起動します。

4 接続方式を選択する

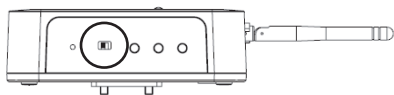


[直接接続] をタップして、アプリの指示に従ってください。途中で位置情報へのアクセス許可が要求される場合があるので許可してください。
(位置情報へのアクセス許可は、アプリが Wi-Fi の接続情報をスマートフォンに設定するために使用します)

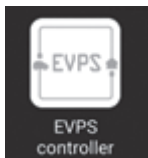
iOS, Android9 以降の場合

1 通信アダプタのスライドスイッチを DIRECT にする

ROUTER ⇄ DIRECT



2 リモコンアプリを起動する



スマートフォンにインストールした「EVPS controller」を起動します。

途中で位置情報の使用許可が要求される場合があるので許可してください。

(位置情報の使用許可は、アプリが Wi-Fi アクセスポイントの SSID を表示、記録するために使用します)



[本体と接続] をタップします。

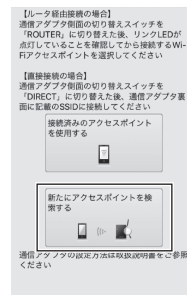
5 ペアリングを行う

通信アダプタの PAIR ボタンを、すべての LED が 2 回点滅するまで (約 6 秒) 長押しした後、[OK] をタップしてください。ペアリングに成功するとリモコンをご使用いただけます。

参考情報

本体にお使いのスマートフォンを記憶させるためペアリングを行います。ペアリング操作は初回接続時のみ必要です。

3 Wi-Fi 接続する



[新たにアクセスポイントを検索する] をタップします。

通信アダプタの裏面に記載されている SSID とパスワードを使用してアクセスポイントに接続します。

4 ペアリングを行う

通信アダプタの PAIR ボタンを、すべての LED が 2 回点滅するまで (約 6 秒) 長押しした後、[OK] をタップしてください。ペアリングに成功するとリモコンをご使用いただけます。

参考情報

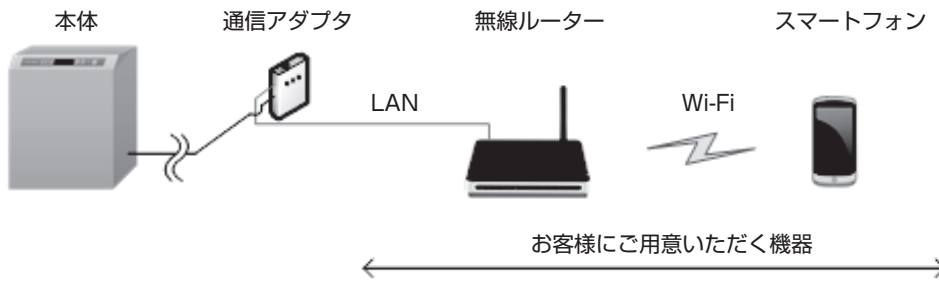
本体にお使いのスマートフォンを記憶させるためペアリングを行います。ペアリング操作は初回接続時のみ必要です。

メモ

- 一般のルーターに比べて接続可能範囲は狭くなります。目安として見通し距離 10m です。壁などの障害物があるとさらに狭くなる可能性があります。
- ペアリングできるスマートフォンの上限数は 4 台です。ペアリング数が上限に達して新規にペアリングできない場合は使用しないスマートフォンのペアリング情報を削除してください。(48 ページ)
- また、リモコンアプリを使用するスマートフォン以外は Wi-Fi 接続しないでください。
- 通信アダプタに有線 LAN ポートがありますが、使用できません。

有線接続方式でアプリを設定する

有線用通信アダプタをお持ちの場合に接続できます。無線 LAN アクセスポイント（無線 LAN ルーター）が必要になります。接続例を以下に示します。



接続方法はルーター経由接続と同じです。(20 ページ)

車両と接続 / 取り外しをする

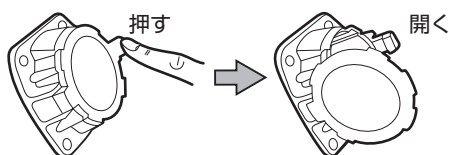
車両との接続は、車両が停止した状態で行ってください。

車両はパーキング状態で、メーターパネルが消えた状態（POWER OFF^{*}）にしてください。

※車種により名称が異なる場合があります。車両の取扱説明書を参照ください。

車両に接続する

1 車両を準備する



車両充電口

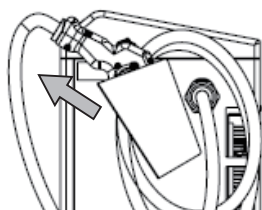
車両充電口

車両のシフトをパーキング（P位置）にします。
「POWER OFF」にして車両の充電口を開きます。

メモ

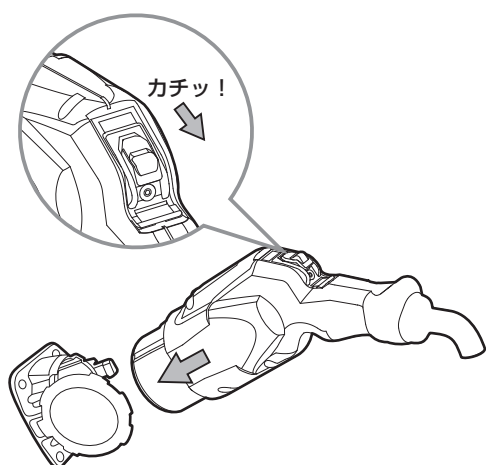
車両毎に操作が異なるため、車両の取り扱い説明書をご確認ください。

2 コネクタホルダからコネクタを取り外す



コネクタをコネクタホルダから引き抜いてください。

3 コネクタを車両に接続する



車両充電口

コネクタを車両充電口の奥まで差し込みます。
「カチッ！」と音がするまで押し込んでください。

メモ

車両充電口にコネクタをしっかりと挿し込んで抜けないことを確認してください。

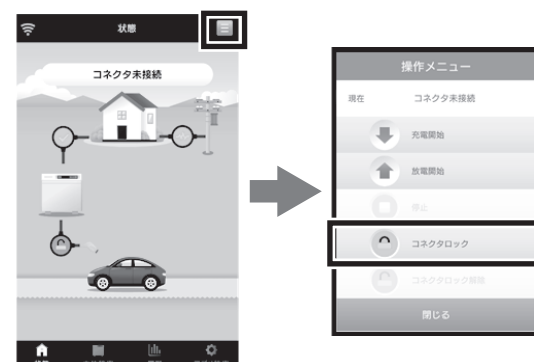
4 コネクタをロックする

① 本体操作でロックする場合



[コネクタロック] ボタンを押します。
コネクタロック LED が点滅し、ロックが完了するとコネクタロック LED と停止 LED が点灯します。
コネクタが車両にロックされますので操作は終了です。

② スマートフォン操作でロックする場合



状態画面でメニューボタンをタップします。
開いた操作メニュー内の [コネクタロック] ボタンをタップしてください。
コネクタが車両にロックされますので操作は終了です。

メモ

- コネクタが車両に接続されていない状態では、コネクタはロックできません。
- コネクタロック中は、無理にコネクタを取り外さないでください。
- コネクタロック解除を行った直後にロックを行う場合、ロックするまで 20 秒程度かかる場合があります。

車両から取り外す

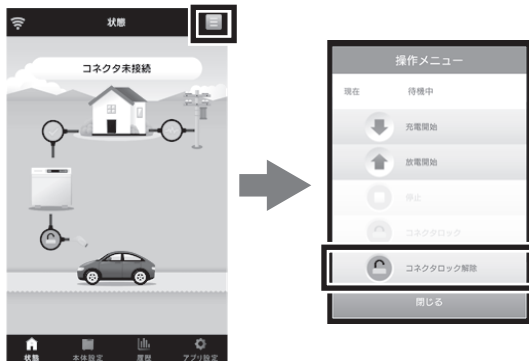
1 コネクタのロックを解除する

①本体操作でロック解除する場合



[コネクタロック] ボタンを押します。
コネクタロック LED が点滅し、ロック解除されるとコネクタロック LED と停止 LED が消灯します。

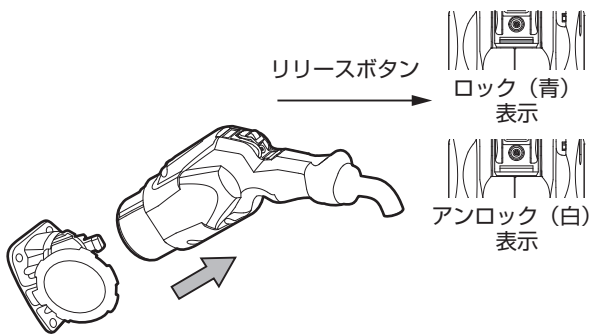
②スマートフォン操作でロック解除する場合



状態画面でメニューボタンをタップします。
開いた操作メニュー内の [コネクタロック解除] ボタンをタップしてください。

メモ
充電・放電動作中にコネクタロックを解除すると充電・放電動作は停止します。

2 車両からコネクタを取り外す



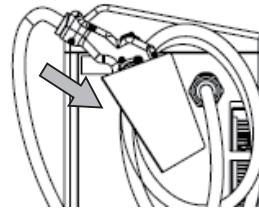
車両充電口

ロック / アンロック表示が青になっていないことを確認します。
コネクタの「リリース」ボタンを押しながら、コネクタを引き抜きます。

メモ

- 充電・放電中はコネクタを外さないでください。
- コネクタを外す場合は、充電・放電動作を停止し、V2H- 充放電器が停止したことを確認した後に行ってください。
- リリースボタンが押せない場合は、本ページ上部の「1. コネクタのロックを解除する」を行ってください。また、コネクタが外れないときは、「こんなときは」の「緊急離脱について」を参照してください。

3 V2H- 充放電器にコネクタを収納する



メモ
不使用時は、雨水やほこりなどを避けるためにも、コネクタをコネクタホルダに収納して保管してください。

充電／放電をする

お好みのタイミングで車両への充電や、車両からの放電を行うことができます。

充電する前に

- 放電非対応車両はお使いになれません。
- V2H- 充放電器の倍速充電機能を十分お使いいただくためには、最大で 6kW の電力が必要です。その他ご家庭内でご使用になる電気機器も含めた電力契約が必要です。
- 充電時に系統電力を計測し、設定した契約電力値以下になるように充電電力を制御します（インテリジェント充電制御）。充電時にご家庭の使用電力が多いと、充電時間が長くなる場合があります。
- 通常は車両が推奨するバッテリー容量か、充電設定のどちらか低いほうまで充電します。充電設定で 100% に設定しても、車両によっては満充電前に充電停止する場合があります。
- 充電停止充電率の設定を行ってください。（40 ページ）

充電を開始する

1 コネクタを接続する

コネクタを車両に接続します。（24 ページ）
コネクタを接続し、コネクタロックボタンを押します。

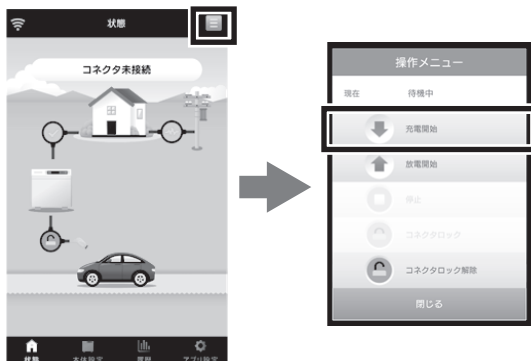
2 充電する

① 本体操作で充電する場合



[充電] ボタンを押します。
充電 LED が点滅し、本体と車両の準備が完了した後、充電 LED が点灯し充電を開始します。

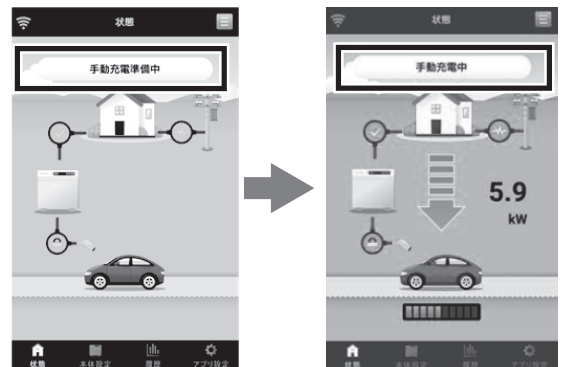
② スマートフォン操作で充電する場合



状態画面でメニューボタンをタップします。
開いた操作メニュー内の [充電開始] ボタンをタップしてください。

操作メニューが自動で閉じ、本体が手動充電準備中になります。

充電を開始すると、本体が手動充電中になります。



メモ

- コネクタロックがされていなくても、充電ボタンを押すと、ロック、充電動作に移行します。
- ボタンを押してから実際に充電するまで数十秒かかる場合があります。
- 放電中に [充電] ボタンを押すと、自動的に充電動作に切り替わります。
- [充電] ボタンを押した時に、すべての LED が 2 回点滅するときは充電できない状態です。（50 ページ）

充電を停止する

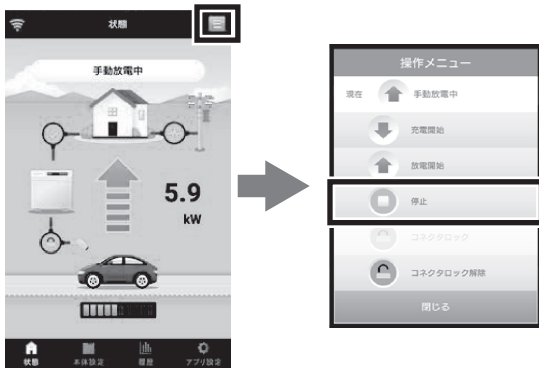
1 充電を停止する

① 本体操作で停止する場合



[停止] ボタンをタッチします。
停止 LED が点滅し、停止処理が完了すると停止 LED が点灯します。

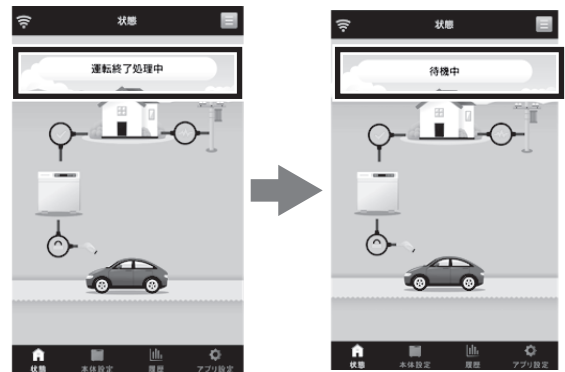
② スマートフォン操作で停止する場合



状態画面でメニューボタンをタップしてください
開いた操作メニュー内の [停止] ボタンをタップしてください。

操作メニューが自動で閉じ、本体が運転終了処理中になります。

停止処理が完了すると、本体が待機中になります。



メモ

- 充電停止充電率に達するか、車両が定めた充電率に達した時には自動停止します。
- 充電動作が停止しても、コネクタはロックされた状態のままとなります。
- コネクタを取り外す際は、「車両から取り外す」(25 ページ)を参考にロックの解除を行ってください。

放電する前に

- 放電には車両が放電対応車両である必要があります。車両販売店にお問い合わせください。
- 放電停止充電率の設定を行ってください。(40 ページ)

放電を開始する

1 コネクタを接続する

コネクタを車両に接続します。(24 ページ)
コネクタを接続し、コネクタロックボタンを押します。

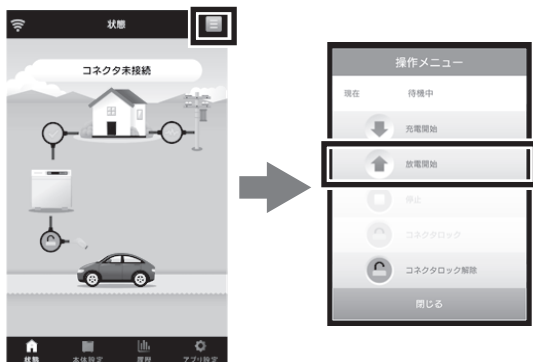
2 放電を開始する

① 本体操作で放電する場合

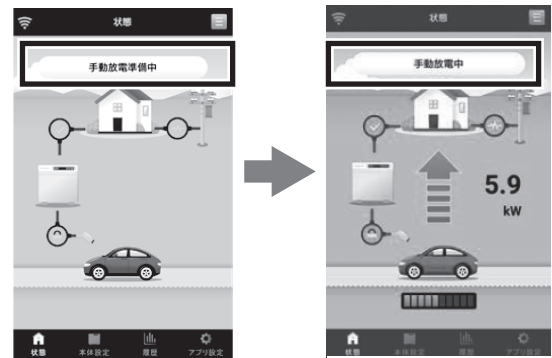


[放電] ボタンをタッチします。
放電 LED が点滅し、本体と車両の準備が完了した後、
放電 LED が点灯し放電を開始します。

② スマートフォン操作で放電する場合



状態画面でメニューボタンをタップしてください。
開いた操作メニュー内の [放電開始] ボタンをタップ
してください。



操作メニューが自動で閉じ、本体が手動放電準備中
になります。

放電を開始すると、本体が手動放電中になります。

メモ

- コネクタロックがされていなくても、放電ボタンを押すとコネクタロックし、放電動作に移行します。
- ボタンを押してから放電開始されるまで数十秒かかる場合があります。
- 充電中に [放電] を押すと、自動的に放電動作に切り替わります。
- [放電] ボタンを押した時に、すべての LED が 2 回点滅するときは放電できない状態です。

放電を停止する

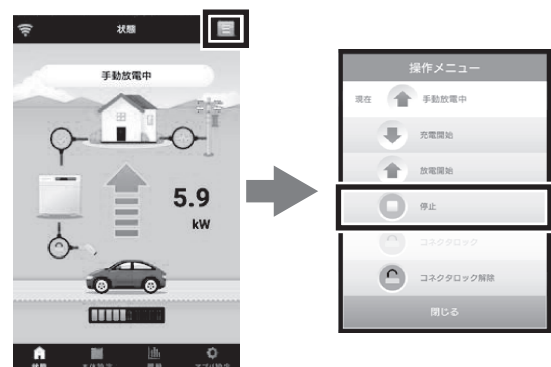
1 放電を停止する

① 本体操作で停止する場合

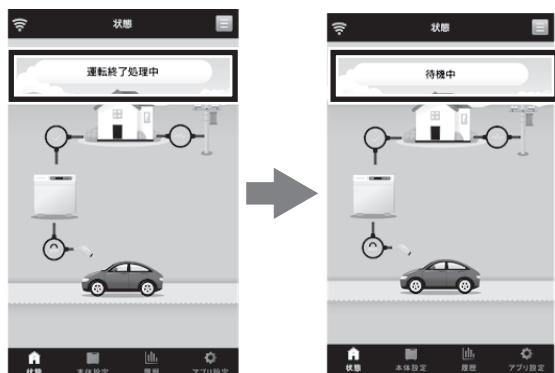


[停止] ボタンを押します。
停止 LED が点滅し、停止処理が完了すると停止 LED
が点灯します。

② スマートフォン操作で停止する場合



状態画面でメニューボタンをタップしてください
開いた操作メニュー内の [停止] ボタンをタップして
ください。



操作メニューが自動で閉じ、本体が運転終了処理中になります。

停止処理が完了すると、本体が待機中になります。

メモ

- 放電停止充電率に達するか、車両が定めた充電率に達した時には自動停止します。
- 放電動作が停止しても、コネクタはロックされた状態のままとなります。
- コネクタを取り外す際は、「車両から取り外す」(25 ページ)を参考にロックの解除を行ってください。

タイマー予約操作をする

タイマーを設定すると毎日設定した時間に、充電の開始／停止、放電の開始／停止を行います。タイマーは停電、瞬時停電などであっても停電復旧が確定したらタイマー時間内であれば自動的に再開するので、夜間の充電など定期的に行う運転はタイマーで行うようにしてください。

以下の場合、**タイマー運転は開始されませんのでご注意ください。**

- タイマー開始時刻に、手動及び HEMS で充電動作または放電動作が行われている。
- タイマー開始時刻に、コネクタが車両に接続されていない。
- タイマー開始時刻に、停電している。
- 停電復旧後、自動的にタイマー設定が OFF になっている。(38 ページ)

本体でタイマーを設定する

設定時間に自動的に運転を開始します。

■ タイマー設定の構成

1 つのタイマーにつき 3 つの設定項目があります。

設定項目	内容
on/off	タイマーの有効 / 無効を設定します。
開始時刻	タイマーの開始時刻を設定します。
終了時刻	タイマーの終了時刻を設定します。

以下に設定例を示します。

例 1

設定例	内容
on/off : on (有効)	10:30 ~ 15:00 までタイマー運転
開始時刻 : 10:30	
終了時刻 : 15:00	

例 2

設定例	内容
on/off : on (有効)	22:30 ~ (翌) 6:00 までタイマー運転
開始時刻 : 22:30	
終了時刻 : 6:00	

例 3

設定例	内容
on/off : off (無効)	タイマー運転は行わない
開始時刻 : 10:30	
終了時刻 : 15:00	

1 設定画面に切り替える



[メニュー / 決定] ボタンをタッチし、状態表示画面に「00」を表示します。

2 タイマー開始設定画面に切り替える



[▲][▼] ボタンで状態表示画面に変更したい「設定番号」を表示し [メニュー / 決定] ボタンをタッチします。各タイマーの「設定番号」は設定番号一覧表を参照ください。

設定番号一覧表

設定番号	タイマー種類	設定項目
A	充電	on/off
A1		開始時刻
A2		終了時刻
b	グリーンモード (34 ページ)	on/off
b1		開始時刻
b2		終了時刻
c	放電 1	on/off
c1		開始時刻
c2		終了時刻
d	放電 2	on/off
d1		開始時刻
d2		終了時刻

ここでは一例として、タイマー充電の設定を示します。

次ページへ続く

3 時刻を設定する



時刻が点滅している状態で [▲][▼] ボタンで設定したい時刻に合わせ、[メニュー/決定] ボタンをタッチします。

メモ

- 10分単位で変更できます。
- [▲][▼] を長押しすると、1時間単位で変更できます。

4 タイマー停止設定画面に切り替える



[▲][▼] ボタンで状態表示画面に「A2」を表示し [メニュー/決定] ボタンをタッチします。

5 時刻を設定する



時刻が点滅している状態で [▲][▼] ボタンで設定したい時刻に合わせ、[メニュー/決定] ボタンをタッチします。

メモ

- 10分単位で変更できます。
- [▲][▼] を長押しすると、1時間単位で変更できます。

6 タイマーを有効にする



[▲][▼] ボタンで状態表示画面に「A」を表示し [メニュー/決定] ボタンをタッチします。



点滅している状態で [▲][▼] ボタンで「ON」を表示させ、[メニュー/決定] ボタンをタッチします。

メモ

- タイマー充電の運転を無効にする場合は、同一の手順で OFF にしてください。
- 各タイマーの設定時間が重複している場合、タイマー充電>タイマー放電 1>タイマー放電 2>グリーンモードタイマーの順で優先されます。
- [メニュー/決定] ボタンをタッチしないと、設定した時刻と ON/OFF は保存されません。
- 日付をまたいでの設定も可能です。

7 コネクタを接続する

コネクタを車両に接続します。(24 ページ)

メモ

- コネクタは、設定した開始時刻までに車両に接続しておいてください。
- 車両に接続後、コネクタがロックされていない場合は開始時刻に自動的にロックします。
- 運転中の場合は設定ができませんので、必ず停止状態にしてください。

タイマー時間の上限値

タイマー予約時間には 23 時間（車両によっては 12 時間）の上限値があり、上限値を超えるようなタイマーの設定をすることができません。

上限値が 12 時間の車両を接続したときに、上限値を超えるようなタイマー設定を行っていた場合は、グリーンモードタイマー、タイマー放電 2、タイマー放電 1、タイマー充電の順番に上限値以下になるまで自動的にタイマー設定が OFF になります。タイマー設定が自動的に OFF になった場合は状態表示画面に以下の表示が出ます。この表示は、充放電やコネクタロックなどの操作を行うと消すことができます。スマホアプリからの操作でも消すことができます。



タイマー放電 2 が OFF になりました
タイマー放電 1 が OFF になりました
グリーンモードタイマーが OFF になりました
タイマー充電が OFF になりました
いずれかのタイマーが自動的に OFF になりました

スマートフォンでタイマーを設定する

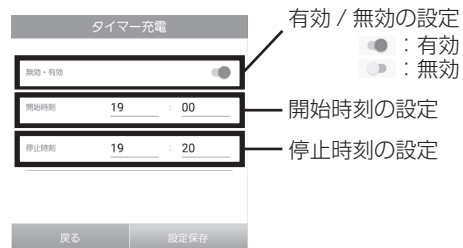
1 本体設定画面で設定したいタイマー（またはグリーンモード）をタップする



メモ

灰色でタップできない場合は停止操作（28 ページ）を行って運転を停止してください。

2 選択したタイマーの設定をする



3 設定保存をタップをする



メモ

設定を破棄したい場合は [戻る] をタップしてください。

タイマー運転中に運転を停止する

タイマー運転中に運転を停止する場合は、手動操作による停止をしてください。

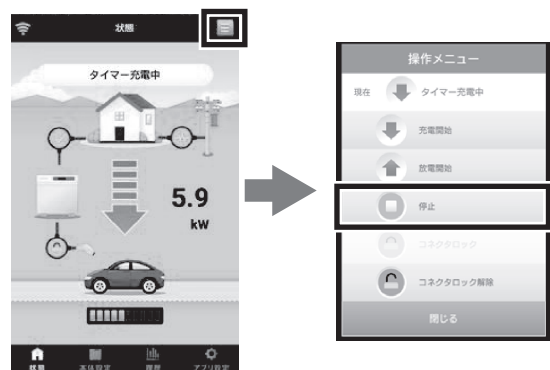
1 タイマー運転を停止する

① 本体操作で停止する場合



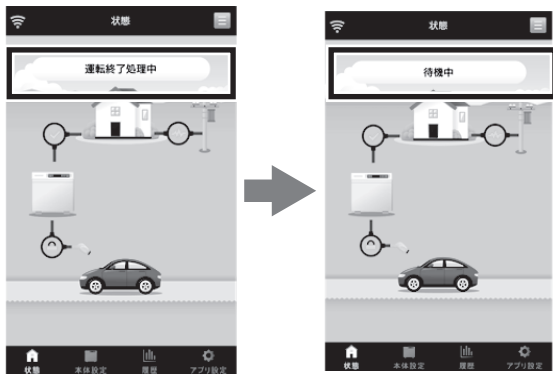
[停止] ボタンをタッチします。
停止 LED が点滅し、停止処理が完了すると停止 LED が点灯します。

② スマートフォン操作で停止する場合



状態画面でメニューボタンをタップしてください。
開いた操作メニュー内の [停止] ボタンをタップしてください。

次ページへ続く



操作メニューが自動で閉じ、本体が運転終了処理中になります。停止処理が完了すると、本体が待機中になります。

メモ

- 放電動作が停止しても、コネクタはロックされた状態のままとなります。
- コネクタを取り外す際は、「車両から取り外す」(25 ページ)を参考にロックの解除を行ってください。

タイマー設定時間中に動作を再開する

タイマー運転を手動で停止した場合、タイマー設定時間であれば以下の手順によってタイマー動作を再開させることができます。

1 コネクタのロックを解除する

コネクタがロックされている場合、[コネクタロック] ボタンをタッチして、コネクタロックを解除します。(25 ページ)

2 コネクタをロックする

[コネクタロック] ボタンをタッチして、コネクタロックを車両にロックします。(24 ページ)

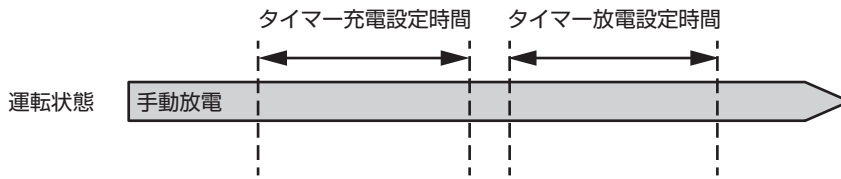
コネクタロックが完了すると、自動的にタイマー動作が再開します。

タイマー予約の優先度

V2H- 充放電器は手動および HEMS 操作を優先して動作します。

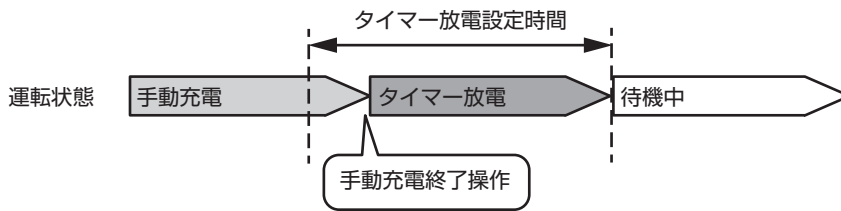
例：手動放電中にタイマー充電やタイマー放電設定時間になった場合

→手動放電を継続します。



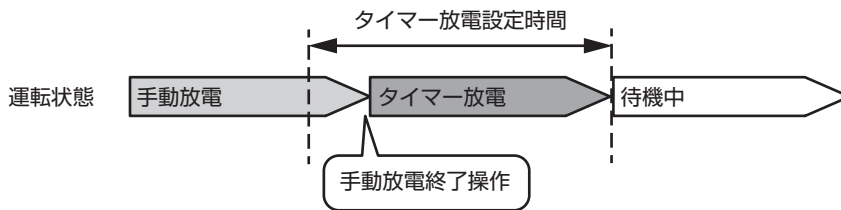
例：タイマー放電設定時間に手動充電を終了させた場合

→タイマー運転を行います。



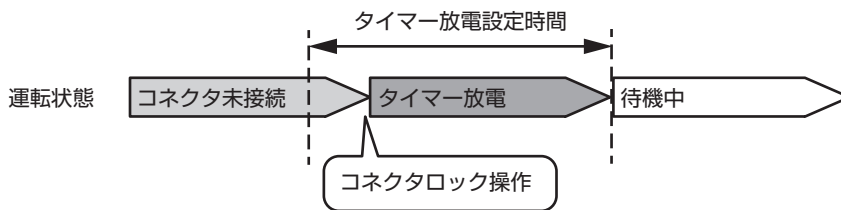
例：タイマー放電設定時間に手動放電を終了させた場合

→タイマー運転を行います。



例：タイマー放電設定時間にコネクタロックした場合

→タイマー運転を行います。



※一例として記載しています。手動操作を HEMS からの操作に置き換えても同様に動作します。

グリーンモードタイマー

タイマー設定の時間範囲内で、太陽光発電機器などの発電機器の出力から家庭での消費分を差し引いた余剰電力を車両に充電します。

- 発電機器をお持ちでない方は設定しないでください。余剰電力が発生しないため、グリーンモードは行われません。
- 余剰電力が見込める時間帯を設定してください。
- お出かけなどで確実な充電が必要な場合はタイマー充電を使用してください。
- 余剰電力で充電を行っている間は、グリーンモード LED が点灯します。

停電時に使用する（停電時自立運転）

万一、系統電力が停電になったときには、手で車両からの放電を行うことができます。

停電時は、手動での停電時自立運転のみが可能です。タイマー運転は開始しません。

停電後、しばらく E29 が表示されますが故障ではありません。（53 ページ）

車両への充電中に停電したら

- 手動充電中に停電した場合、充電は停止します。復旧後に再度充電操作を行ってください。
- タイマー充電中に停電した場合、充電は停止します。タイマー設定時間内に V2H- 充放電器が停電復旧を確定した場合（停電復旧から約 5 分かかります）、充電を再開します。
- 停電が発生すると宅内も停電します。

車両からの放電中に停電したら

- 手動放電中に停電した場合、放電は停止します。復旧後に再度放電操作を行ってください。
- タイマー放電中に停電した場合、放電は停止します。タイマー設定時間内に V2H- 充放電器が停電復旧を確定した場合（停電復旧から約 5 分かかります）、放電を再開します。
- 停電が発生すると宅内も停電します。

待機中に停電したら

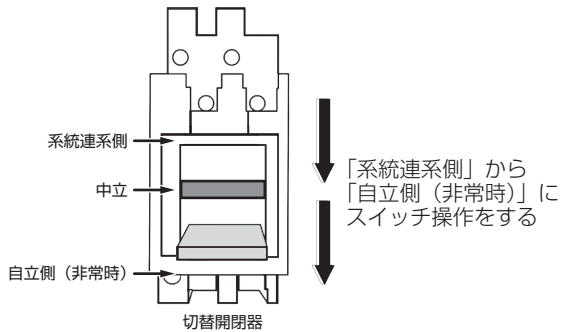
- 停電が発生すると宅内も停電します。
- 手動操作により車両から放電することができます。（28 ページ）
- 停電中にタイマー放電開始時刻になっても放電は開始しません。
- 停電中は、手動充電、タイマー充電、どちらもできません。
- コネクタロックは自動的に解除します。

停電時自立運転する前に

- 車両のバッテリー残量が放電停止充電率設定（40 ページ）や車両の推奨するバッテリー容量以下になっている場合は、放電できません。

停電時に自立運転を開始する

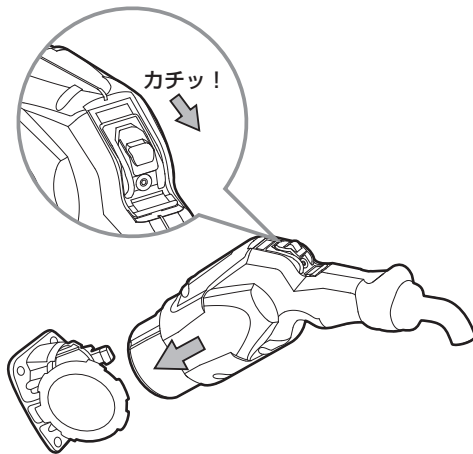
1 自立運転用の切り替えスイッチを切り替える



分電盤内に設置してある自立運転用の切り替えスイッチを切り替えてください。

1回の切り替えでは「中立」となるため、必ず2回切り替えてください。

2 コネクタを接続する



車両充電口

コネクタを車両充電口の奥まで挿し込みます。「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

メモ

- 車両充電口にコネクタをしっかりと挿し込んで抜けないことを確認してください。
- 車両によっては、下記の手順3、4、6の操作が不要場合があります。車両販売店にお問い合わせください。不要の場合は、手順5のみを行ってください。

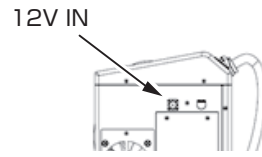
3 車両の電源ソケットに12V電源ケーブルを接続する

車両の電源ソケットに付属品の12V電源ケーブルを接続し、車両のACC（アクセサリ）をONにします。

メモ

- 車両のドアは閉じた状態として、窓から12V電源ケーブルを外に出してください。
- 車両のソケットの位置および接続については、車両の取り扱い説明書を確認してください。
- 車種によってはこの操作が不要なものがあります。詳しくは車両をお買い上げの販売店にお問い合わせください。

4 本体に12V電源ケーブルを接続する



本体左側面の12V INに12V電源ケーブルを接続してください。

ふたは、左に回して手前に引くことで取り外せます。

メモ

使用時以外は常時ふたをつけておいてください。

5 放電を開始する



[放電] ボタンをタッチします。

放電LEDが点滅し、本体と車両の準備が完了した後、放電LEDが点灯し放電を開始します。

メモ

- [放電] ボタンをタッチしてから十数秒後に放電が開始されます。
- [放電] ボタンを押した時すべてのLEDが2回点滅するときは放電できない状態です。(50ページ)

6 車両のACCをOFFにする

車両から放電状態を確認した段階で、車両のACC（アクセサリ）をOFFにする。

メモ

- 車両の消費電力が多くなり、車両蓄電池が早く消費されてしまうため、放電確認後、車両のACC（アクセサリ）を必ず[OFF]してください。
- 車両によってはACCをOFFすると自立運転が停止するものがあります。その時はACCをONのままにしてください。詳しくは車両をお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 自立運転の放電開始後、スマートフォンをリモコンとして使用することができます。

自立運転時に太陽光発電がある場合

- V2H- 充放電器が自立運転を開始し、約 5 分間の通電が継続した後に、太陽光発電 (PV) が自動的に発電を開始します。
- 自立運転中に PV の余剰電力が発生した場合、余剰電力を車両に充電します。
- 車両が満充電になると、V2H- 充放電器が PV のパワーコンディショナを自動的に停止させます。パワーコンディショナに周波数異常の表示が出ますが、不良ではありません。詳しくは V2H- 充放電器をお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 車両が満充電になり PV のパワーコンディショナが停止した後も、V2H- 充放電器は放電を実施します。しばらく放電し電池残量が減ると、自動的に PV のパワーコンディショナは運転を再開します。

メモ

- 太陽光発電のパワーコンディショナによっては、自立運転時に発電しないことがあります。その場合は、V2H- 充放電器の自立運転とは別に、太陽光発電を自立運転に切り替えてご利用ください。

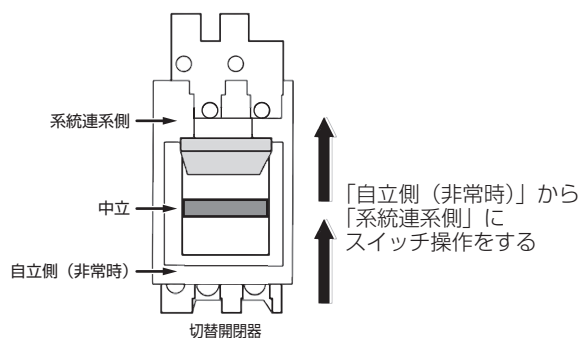
停電時に自立運転を停止する

1 コネクタのロックを解除する



[コネクタロック] ボタンをタッチします。
コネクタロック LED が点滅し、ロックが解除されるとコネクタロック LED と停止 LED が消灯します。

2 自立運転用の切り替えスイッチを切り替える



分電盤内に設置してある自立運転用の切り替えスイッチを切り替えてください。

1 回の切り替えでは「中立」となるため、必ず 2 回切り替えてください。

メモ

- 放電を停止する操作を行った際に停電している場合は、宅内も停電になります。
- 停電から系統が復旧していても放電を停止する操作の際に、宅内が停電します。

停電時に使用する場合の注意事項

災害により停電が発生した場合は、漏電などがなく、電気系統に問題がないことを確認の上「放電操作」を行ってください。



警告

もし漏電や地絡などが発生する可能性がある場合には、火災などのおそれがありますので「放電操作」は行わないでください。

待機中に停電が復旧したら

- 待機中に系統電力の停電が復旧すると、復旧と同時に宅内に系統電力から電力供給されます。
- 分電盤内に設置してある自立運転用の切り替えスイッチが切り替わっていると、停電復旧しても宅内が停電したままになるので、自立運転（放電）をしていないときは切り替えないでください。
- 停電が復旧すると本体表示部にカウントダウンが表示されます。（約5分間）カウントダウン終了後に充電・放電が可能になります。

自立運転中に停電が復旧したら

- 復旧確定（約5分間系統通電が継続）後に自動的に放電を停止します。自立運転用の切り替えスイッチを切り替えてください。
- 復電後運転継続機能を ON にしていると、停電復旧が確定した場合でも自立運転（放電）を継続します。（40 ページ）その場合、本体の放電 LED と停止 LED が点滅します。
- 復電後運転継続機能を ON にして、停電復旧確定後、切替器を通常状態に切り替える際は、手動で本体の停止操作をしたのちに、切り替えてください。
- 停電復旧後自動的に運転が開始されるのを防ぐため、自立運転を行うとタイマー設定が OFF になります。自立運転を行った後は、タイマー設定をしている場合は設定を ON に戻してください。

設定する

車両の充電率などシステムに関わる設定を行えます。

本体で設定する

1 運転を停止する



[停止] ボタンをタッチします。
停止 LED が点滅し、停止処理が完了すると停止 LED が点灯します。

メモ
運転中の場合は設定ができませんので、必ず停止状態にしてください。

2 設定画面に切り替える



[メニュー / 決定] ボタンをタッチし、状態表示画面に [00] を表示します。

3 パラメーターを変更する



[▲][▼] ボタンで変更したい「設定番号」を表示し [メニュー / 決定] ボタンをタッチします。
表示部右側のパラメーターが点滅して [▲][▼] ボタンで変更可能になります。
設定番号とパラメーターについては、39 ページ～41 ページを参照してください。

4 変更を確定する

[▲][▼] ボタンでパラメーターを変更したら、[メニュー / 決定] ボタンをタッチして変更を確定します。
変更を破棄したい場合は、[戻る] ボタンをタッチします。
変更または破棄されると、パラメーターの点滅表示が点灯表示に戻ります。

5 設定画面を終了する

[戻る] ボタンをタッチすると、設定画面が終了し表示部が消えます。

メモ
ボタン操作から約 1 分経過すると、自動的に設定画面が終了し表示部が消えます。

タイマー充電設定（設定番号：A、A1、A2）

タイマー充電の ON/OFF 設定、開始時刻、停止時刻を設定します。(30 ページ)

グリーンモード設定（設定番号：b、b1、b2）

グリーンモードの ON/OFF 設定、開始時刻、停止時刻を設定します。(30 ページ)

タイマー放電1設定（設定番号：c、c1、c2）

タイマー放電 1 の ON/OFF 設定、開始時刻、停止時刻を設定します。(30 ページ)

タイマー放電2設定（設定番号：d、d1、d2）

タイマー放電 2 の ON/OFF 設定、開始時刻、停止時刻を設定します。(30 ページ)

充電停止充電率設定（設定番号：01）

手動充電、タイマー充電で、充電を停止する電池残量を設定します。20%から100%まで10%毎に設定が可能です。（初期値100%）設定値に到達すると充電を停止します。グリーンモード充電、PV 余剰充電時は設定番号：08 を参照ください。

メモ

車両によっては設定値に到達する前に充電を停止することがあります。

放電停止充電率設定（設定番号：02）

放電を停止する電池残量を設定します。10%から90%まで10%毎に設定が可能です。（初期値10%）設定値に到達すると放電を停止します。

メモ

車両によっては設定値に到達する前に放電を停止することがあります。

本体時刻設定（設定番号：03）

現在の時刻を設定できます。

現在時刻は、長く使用されるとずれることがあります。定期的に修正することをお勧めします。

タイマー運転はここで設定した時刻に基づいて動作します。

PV 余剰充電とは

PV の余剰電力が発生した場合に、売電せずに車両に充電させるモードです。

太陽光発電電力と家庭負荷のバランスで、余剰分は常に車両に充電を行います。

発電の減少や負荷の増大時は、自動的に車両からの放電（給電）に切り替わります。

PV 余剰充電設定（設定番号：04）

放電運転中に PV の余剰電力が発生した場合、余剰電力分を車両に充電する機能です。（初期値 OFF）

余剰電力の充電を行っている際は、放電 LED とグリーンモード LED が点灯します。

余剰電力が車両に充電できる電力を上回った場合は、設定が ON の状態でも車両への充電を止め、PV 余剰電力を売電します。

復電時放電継続設定（設定番号：05）

停電中に放電運転を行っている際に復電した場合、放電運転を継続する機能です。（初期値 OFF）

系統が復旧した際に放電が停止し、不意の停電を発生させたくない場合に使用します。（自立放電中に系統電力復旧が確定した場合、本体の放電 LED と停止 LED が点滅します）

HEMS 連携機能設定（設定番号：06、07）

HEMS で使用される ECHONET Lite 規格の通信設定です。（初期値 OFF）

以下の表のように設定します。

設定番号 06	設定番号 07	HEMS 連携機能
on	on	HEMS 連携機能有効
on	off	HEMS 連携機能有効（情報提供のみ、HEMS からの操作不可）
off	on	HEMS 通信機能無効
off	off	

メモ

- 設定番号06をONに設定している場合、本体やスマートフォンの専用リモコンアプリからの操作を行わなくても ECHONET Lite 通信からの操作によって運転することがあります。
- V2H- 充電器の操作を HEMS から行うには、本システムに対応した HEMS コントローラーが必要です。

余剰電力充電停止充電率設定（設定番号：08）

グリーンモード充電、PV 余剰充電で、充電を停止する電池残量を設定します。20%から 100%まで 10%毎に設定が可能です。（初期値 100%）

設定値に到達すると充電を停止します。

メモ

- 車両によっては設定値に到達する前に充電を停止することがあります。
- 本体操作パネルからのみ設定可能です。スマートフォンからは設定できません。

充電動作を停止する充電率設定について

V2H- 充放電器では 2 種類の充電動作を停止する充電率設定があります。

設定	設定対象となる動作	主となる充電電力供給源	車両への充電と時間
充電停止充電率設定 (設定番号：01)	充電 タイマー充電	電力会社から購入する電力 ^{*1}	確実に充電が可能 倍速充電
余剰電力充電停止充電率設定 (設定番号：08)	放電（PV 余剰充電機能 ON） グリーンモード	余剰電力	余剰電力の発生状況によって 決まる

^{*1} 充電中に余剰電力が発生した場合、余剰電力も使用します。

車両の走行に必要な分を確実に充電したい場合

充電停止充電率設定（設定番号：01）を車両の走行に必要な分の充電率に設定の上、手動充電またはタイマー充電にて車両へ充電を行ってください。

余剰電力を活用して経済的に車両へ充電したい場合

余剰電力充電停止充電率設定（設定番号：08）を車両へ充電したい最大の充電率に設定の上、PV 余剰充電機能 ON して放電^{*2} またはグリーンモードにて車両へ充電を行ってください。

^{*2} PV 発電量が小さいまたは余剰電力が発生しない（家庭消費電力が大きい）状態が続く場合、V2H- 充放電器は放電動作を行いますので、車両の充電率は低下します。

本体ロック設定

本体ロック設定を有効にすると本体で非常停止スイッチ以外の一切のスイッチが無効になります。

設定方法：1. [停止] ボタンをタッチし、運転を停止します。

2. [メニュー / 決定] ボタンをタッチし、表示部に [00] を表示します。

3. [メニュー / 決定] ボタンと▼ボタンを同時押し（1 秒長押し）します。

（すべてのボタンの LED が点滅し、状態表示画面に 1 秒間「Loc」と表示）

解除方法：[メニュー / 決定] ボタンと▼ボタンを同時押し（1 秒長押し）します。

メモ

停電時には、本体ロック設定は無効となります。（本体ボタンによる操作が可能となります。）

スマートフォンで設定する

1 本体設定画面で設定したい設定項目をタップする






灰色でタップできない場合は停止操作（28 ページ）を行って運転を停止してください。

2 選択した項目の設定を行う

①	タイマー設定	本体のタイマー運転設定を行います。(30 ページ)
②	充放電停止充電率設定	運転を停止する充電率を設定します。 数値をタップすると変更することができます。 
③	HEMS 連携設定	HEMS 連携機能の設定をします。 
④	PV 余剰電力充電設定	スライドスイッチをタップして余剰電力充電機能の有効 / 無効を設定します。
⑤	本体ボタン無効設定	スライドスイッチをタップして本体ボタン無効機能の有効 / 無効を設定します。
⑥	復帰時放電継続設定	スライドスイッチをタップして復帰時放電継続機能の有効 / 無効を設定します。

次ページへ続く

⑦	初期化設定	<p>V2H- 充放電器本体設定の初期化を行います。</p> 
⑧	EVPS 時刻手動設定	<p>変更したい時刻入力して [設定保存] ボタンをタップすることで V2H- 充放電器本体時刻を手動設定します。</p>  <p> メモ 日付の変更を行うと、放電履歴／変更履歴／運転履歴のデータが消えたり、誤った表示になることがあります。</p>

データを表示する

本体で表示する

充電電力および放電電力と車両充電率（電池残量）を表示します。

※本データは目安として参照ください。

1 運転を行う

停止中の場合は、[充電]ボタンか[放電]ボタンを押して運転を開始します。(26 ページ)

2 充放電力画面に切り替える



[▲]ボタンか[▼]ボタンをタッチします。
充放電力 LED が点灯し、状態表示画面に充電、放電電力が 0.1kW 単位で表示されます。

3 電池残量画面に切り替える



[▲]ボタンか[▼]ボタンをタッチします。
電池残量 LED が点灯し、状態表示画面に車両電池残量が 10%単位で表示されます。

メモ

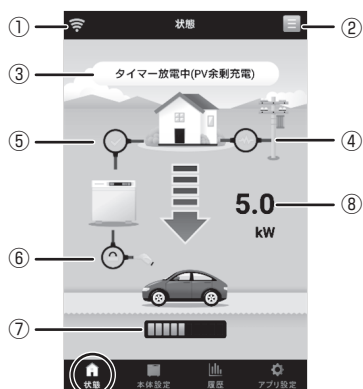
ボタン操作から約 1 分経過すると表示が消えます。

スマートフォンで表示する

現在の V2H- 充放電器の状況に加え、履歴データを表示することができます。

1 画面左下の [状態] ボタンをタップして状態画面を表示する

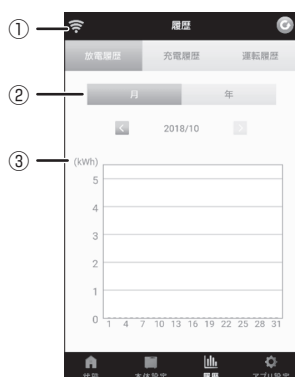
現在の V2H- 充放電器の状態を表示することができます。



番号	名称	イメージ	説明
①	アンテナアイコン	 確立時  未確立時	通信アダプタとスマートフォンの間に通信が確立しているかどうかを表示します。
②	メニューボタン		タップすると本体の操作メニューを展開します。
③	本体状態		本体の状態を表示します。
④	系統状態アイコン	 通電  停電復旧確定待ち  停電	電力系統の状態を表示します。
⑤	アダプタ状態アイコン	 確立時  未確立時	通信アダプタと本体の間に通信が確立しているかどうかを表示します。
⑥	コネクタ状態アイコン	 ロック  アンロック	コネクタを車両にロックしているかどうかを表示します。
⑦	車両充電率バー		車両の充電率（電池残量）目安を 10 段階で表示します。
⑧	充放電電力		充放電電力を表示します。

2 画面右下から2つ目の[履歴]ボタンをタップして履歴画面に切り替える

履歴データを表示することができます。



番号	名称	イメージ	説明														
①	履歴切り替えボタン		放電履歴 / 充電履歴 / 運転履歴を切り替えます。														
②	グラフ切り替えボタン		放電履歴 / 充電履歴を選択したときに表示されます。 [<] / [>] で先月と今月、前年と今年のグラフを表示することができます。														
③	データ表示	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>イベント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2018/12/06 13:37:47</td> <td>手動操作実施</td> </tr> <tr> <td>2018/12/06 13:37:44</td> <td>手動操作実施</td> </tr> <tr> <td>2018/12/06 13:37:44</td> <td>運転終了</td> </tr> <tr> <td>2018/12/06 13:37:44</td> <td>手動操作実施</td> </tr> <tr> <td>2018/12/06 13:37:44</td> <td>手動充電開始</td> </tr> <tr> <td>2018/12/06 13:37:44</td> <td>運転終了</td> </tr> </tbody> </table>	日時	イベント	2018/12/06 13:37:47	手動操作実施	2018/12/06 13:37:44	手動操作実施	2018/12/06 13:37:44	運転終了	2018/12/06 13:37:44	手動操作実施	2018/12/06 13:37:44	手動充電開始	2018/12/06 13:37:44	運転終了	放電履歴 / 充電履歴では kWh 単位で電力量をグラフ表示します。 運転履歴では操作内容や V2H- 充放電器動作の内容をリスト表示します。
日時	イベント																
2018/12/06 13:37:47	手動操作実施																
2018/12/06 13:37:44	手動操作実施																
2018/12/06 13:37:44	運転終了																
2018/12/06 13:37:44	手動操作実施																
2018/12/06 13:37:44	手動充電開始																
2018/12/06 13:37:44	運転終了																

その他の操作

電源を入れる

本体専用漏電ブレーカを ON にします。

本体に電源が供給され、充電・放電を行うことができますようになります。

電源を切る

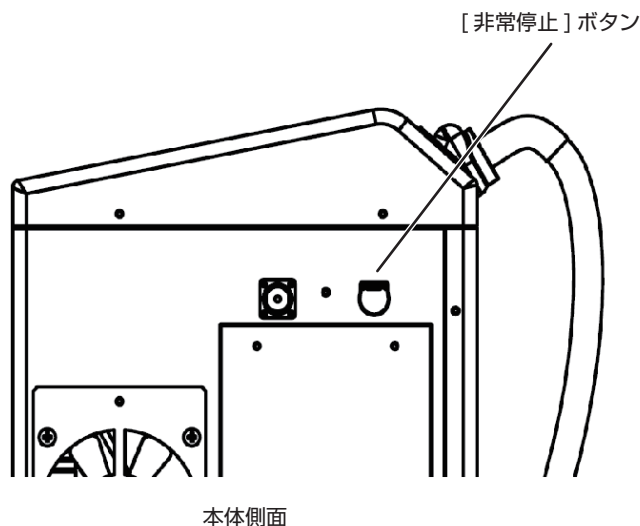
本体の充電・放電動作を停止させた後、コネクタのロックを解除し車両からコネクタが取り外されていることを確認してください。

本体専用漏電ブレーカを OFF にすると本体の電源を切ることができます。

その際、しばらく E29 が表示されますが故障ではありません。(53 ページ)

非常停止する

本体操作パネルで停止ボタンを押しても停止しない場合、非常停止ボタンを用いることで、動作を停止させることができます。非常停止ボタンを押すと本体操作パネルの数値表示部に「E11」、「E101」が表示されて運転できなくなります。(53 ページ)



非常停止から復帰する

非常停止ボタンを解除する場合は、非常停止ボタンが押されたままの状態になっていますので、再度非常停止ボタンを押し、元の状態に戻してください。

システムリセットする

V2H- 充放電器の故障情報を初期化するために、システムリセットをすることができます。(53 ページ)

1 運転を停止する

充電 LED と放電 LED が両方とも消灯していることを確認します。点灯している場合は停止ボタンを押して運転を停止してください。

2 設定番号「00」を表示させる

[メニュー / 決定] ボタンを押して、数値表示部の設定番号を「00」にします。

3 停止ボタンを長押しした状態で、戻るボタンを押す

最初に停止ボタンを長押しした状態で、戻るボタンをリセット完了するまで同時長押ししてください。(目安 5~8 秒)

リセット完了すると、設定番号「00」の表示が消えます。

メモ

通信アダプタをリセットするにはアダプタ側面のリセットボタンを押してください。

EVPS controller アプリについて

アプリの設定を行う

アプリ設定ボタンをタップするとアプリ設定画面が表示されます。



番号	名称	機能
①	アプリ起動中に画面を消さないボタン	アプリ起動中にスマホ画面の点灯を続けます。 電力モニターとしてご使用になる場合有効にしてください。
②	本体時刻自動更新ボタン	V2H- 充放電器本体とスマートフォンの時刻合わせを行います。 V2H- 充放電器本体とスマートフォンの時刻が約 5 ~ 60 分ずれているときに更新されます。
③	バージョン表示	現在インストールされているアプリのバージョンを表示します。
④	ペアリング設定	現在のペアリング状態を表示します。 ペアリングデータを削除する場合、タップして削除操作を行ってください。
⑤	PV 関連設定の非表示設定	本体設定のグリーンモード設定ボタン、余剰電力充電設定ボタンを非表示にします。

リモコンアプリの利用をやめる

専用リモコンアプリを使用する際にペアリング情報を設定しています。ペアリング情報の上限数は 4 台なので、スマートフォンを機種変更するなどアプリの利用をやめる場合は予めペアリング情報を削除してください。

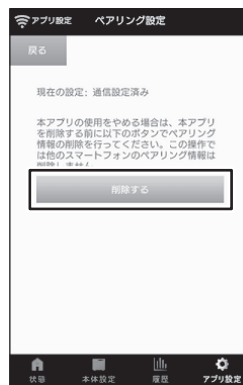
1 スマホアプリを起動する

2 アプリ設定画面をタップする

3 ペアリング設定を開く



4 [削除する] をタップする



次ページへ続く

5

通信アダプタに直接接続していた場合は、スマートフォンに登録されている Wi-Fi アクセスポイント (“r_adpt_xxxxxx (数字 6 桁)”) を削除する



メモ

- 上記手順で削除されるペアリングデータは操作したスマートフォンの情報のみです。
- 通信アダプタの PAIR ボタンを長押ししてから 1 分間はペアリング設定の削除ができません。
- 削除したいスマートフォンが操作できない場合は、通信アダプタの CLEAR ボタンを、すべての LED が 2 回点滅するまで (約 6 秒間) 長押しすることでペアリングデータを削除できます。このときすべてのペアリングデータが削除されるので、他のスマートフォンのペアリング情報を再設定してください。

ご注意事項

- 外出時はアプリをご利用になれません。通信アダプタやご自宅のルーターの接続可能範囲を超えると通信途絶を知らせるメッセージが表示されます。
- アプリの表示中は情報更新を短い間隔で繰り返すためバッテリーが早く消耗します。使用していないときはアプリを終了させるかスマートフォンをスリープさせてください。
- 本体ボタン無効設定を有効にすると本体で非常停止スイッチ以外の一切のスイッチが無効になります。万一、スマートフォンを紛失して設定解除できない場合は、V2H- 充放電器本体の電源を一度 OFF してください。(47 ページ)

車種ごとの注意事項

当社ウェブサイトをご確認ください。

<https://www.denso.com/jp/ja/products-and-services/consumer-products/v2h/>



こんなときは

コネクタがロックできない

- 車両の状態によってはコネクタロックができないことがあります。以下の項目を確認してください。
 - 車両はパーキング状態で、メーターパネルが消えた状態 (IGN OFF) になっていること。
 - 普通充電コネクタが接続されていないこと。

運転しない / できない

ボタンを押しても反応が無い

以下の項目を確認してください。

- 操作パネルで設定を行っている。(設定番号が表示されている) :
 - 戻るキーを押して表示部の表示が無くなってから操作してください。
- 停電中 :
 - コネクタを挿した状態でボタンを押しても光らない場合は 12V 電源ケーブルを接続してください。
- 本体専用漏電ブレーカーが OFF になっている
 - 本体専用漏電ブレーカーを ON にしてください。(7 ページ)
- 切り替えスイッチが自立側、もしくは中立になっている
 - 系統電源側に切り替えてください。(37 ページ)

ボタンを押すとすべての LED が 2 回短く点滅する

押されたボタンによる操作が受付できないときに点滅します。以下の項目を確認してください。

- 運転開始中および運転終了中 :
 - しばらく待ってから操作してください。
- 本体ボタン無効設定されている :
 - V2H- 充放電器本体から設定を解除してください。(41 ページ)
 - スマートフォンの専用リモコンアプリから本体ボタン無効設定を解除してください。(42 ページ) 万一、スマートフォンを紛失するなどして操作できない場合は、本体の電源を一度切ってください。(47 ページ)
- 本体が停電復旧確定待ち :
 - 電力系統が停電から復旧した後は、V2H- 充放電器が停電復旧を確定するまで (約 5 分間)、運転はできません。この間、本体表示部にカウントダウンが表示されます。カウントダウン終了後に充電・放電が可能になります。
- 本体がシステム準備中 :
 - 本体電源を入れた後 V2H- 充放電器が準備を終了するまで (約 5 分間) 運転はできません。システムリセット後もシステム準備を行いますので約 5 分間は運転できません。
- エラー中 :
 - 操作パネル表示部に「E XXX」の表示がある場合は運転できません。(53 ページ)

運転開始するがすぐに停止する

以下の項目を確認してください。

- エラー表示がある :
 - 表示部に「E XXX」の表示がある場合は運転できません。(53 ページ)
- エラー表示が無い :
 - 放電非対応車から放電している。
 - 放電は放電対応車で行ってください。
 - 車両の電池残量が多すぎる / 少なすぎる。
 - 充電停止電池残量、放電停止電池残量を適正に調整してください。
 - 充放電を行って車両の電池残量を適正に調整してください。
 - 車両側から運転を停止している。

詳しくは車両の取扱説明書をご確認ください。以下に一例を記します。

- POWER が OFF になっていない。
- シフトノブがパーキングになっていない。
- 車両の電池残量が高すぎる / 低すぎる。
- 普通充電コネクタが接続されている。

しばらくすると停止している

停電や瞬時停電が検出された場合、運転を停止します。タイマー運転の場合、停電等から停電復旧確定（復旧から約5分経過）した後タイマー時間範囲内であれば運転を再開するので、夜間の充電などはタイマー運転をご使用ください。

充電電力が少ない

以下の理由で充電電力が少なくなることがあります。

- 家庭消費電力が増えると、ご家庭のブレーカ容量を超えないように充電電流を制限する制御（インテリジェント充電制御）が働いて充電電力が減少します。ブレーカ容量に対して十分消費電力に余裕があるのに、充電が少ない場合は、お買い上げの販売店へ点検をご依頼ください。
- 放電非対応車両の場合、家庭消費電力が少ないときには放電対応車より充電電力を低めに制御しています。
- 車両の電池残量（充電率）が高かったり低かったりした場合、充電電力が少なくなることがあります。
- ご家庭に HEMS コントローラーが設置されている場合、HEMS コントローラーからの指示によって充電電力が変更されることがあります。
- グリーンモードで充電を行う場合、充電電力は PV の発電量によって少なくなることがあります。
- 本体に日射がある場合や吸排気口がふさがれるなどして本体内部温度が上昇した場合、保護の為に充電電力が少なくなることがあります。
吸排気口がふさがれている場合は、外側から掃除機を利用するなどして、ごみを取り除いてください。

放電電力が少ない

以下の項目を確認してください。

- V2H- 充放電器から放電した電力を電力会社へ送る（売電する）ことはできません。家庭消費電力を上限として放電するため、家庭消費電力が少ない場合は放電電力が少なくなります。
- PV を併設されている場合は、PV の発電電力の分本機の放電電力が少なくなります。
- ご家庭に HEMS コントローラーが設置されている場合、HEMS コントローラーからの指示によって放電電力が変更されることがあります。
- 本体に日射がある場合や吸排気口がふさがれるなどして本体内部温度が上昇した場合、保護の為に放電電力が少なくなることがあります。

放電中に充電する

PV 余剰充電機能が ON になっている場合、充電を行うことがあります。（40 ページ）

グリーンモードで電池残量が増えない / 減る

PV の発電量が安定していない場合、グリーンモードで電池残量が増えなかったり、減ったりすることがあります。

グリーン充電では、家庭側に設置された発電機器の出力から家庭での消費分を差し引いた残りの余剰電力で車両への充電を行います。余剰電力が十分にあるときに充電動作を開始しますが、充電動作を開始した後に余剰電力が減少すると充電を停止します。そのため、余剰電力が安定して発生する状態でなければ電池残量は増えません。また、グリーンモードでの充電開始 / 停止が一定回数を超えるとグリーンモードの運転を終了します。

余剰電力の発生に増減が生じ充電の開始停止を繰り返したり、充電を行っているものの余剰電力が低い場合は車両によっては車両の補機類（電池システムや通信システムなど）の消費電力によって逆に電池残量が減ったりする可能性があります。

ブレーカが頻繁に落ちる

- お買い上げの販売店へ点検をご依頼ください。

契約電力を変更する場合

- ブレーカの容量を変更する場合には、V2H- 充放電器の設定の変更が必要になりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

100% まで充電できない

- 車両によっては充電停止充電率設定を 100% に設定しても、充電率（電池残量）が 100% に到達する前に充電を停止することがあります。
- 充電時間帯に他の家電製品（電気温水器、床暖房など）を多く使っている場合、電力契約によっては、充電できる電力が不足する場合があります。その場合は、電力契約の見直しなど、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 充電時間が短い場合、充電停止充電率設定まで充電できない場合があります。
- 充電停止充電率設定を低く設定している場合があります。「設定する」の「充電停止充電率設定」を確認してください。

車両が満充電後、すぐに放電できない

- 車両によっては、満充電後すぐには放電できない場合があります。

充放電コネクタが取り外せなくなった場合

- 再度、[コネクタロック] ボタンをタッチしてください。
- 一度充電あるいは放電を実施してください。実施後、再度 [コネクタロック] ボタンをタッチしてください。
- 冬季、窓ガラスに霜がついている場合は凍結している可能性があります。その場合は、ヘアドライヤー等であたためてください。

<緊急離脱について>

緊急の場合は、付属の「充放電コネクタ緊急離脱工具」を使用して充放電コネクタを取り外すことができます。

- 緊急離脱を行った場合は、充放電コネクタは利用できなくなるため、必ずお買い上げの販売会社にご連絡ください。
- 保証期間中であっても、不具合以外の要因で緊急離脱を行った場合のサービス対応費用はお客様負担となります。

※充放電コネクタ緊急離脱工具の入った袋に取扱説明書が同封されています。

※「開封前に必ずお読みください」として下記を明示しております。開封された場合下記内容に同意されたものとみなします。

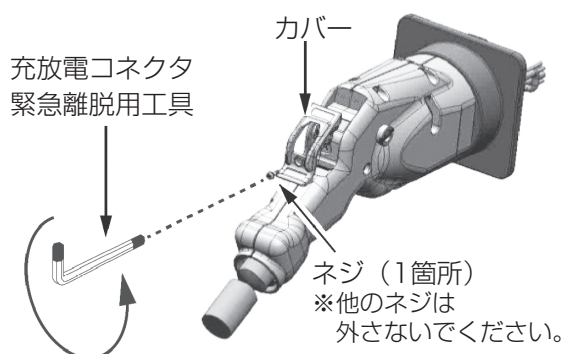
- 緊急離脱を行った充放電コネクタは使用できなくなります。
- 緊急離脱を行った場合は当社による点検と内部スイッチ機能の回復が必要となります。
- 本書の「安全のために必ずお守りください」を作業前に必ずお読みください。
- 本書の記載内容を熟読し、手順に従って作業を行ってください。

<緊急離脱の手順>

作業前に以下を確認してください。

- 充放電が停止していること。
- 操作パネルの LED ランプがすべて消灯していること。
- 12V 電源ケーブルが接続されていないこと。

1 充放電コネクタ緊急離脱工具を使用してグリップのネジを外し、カバーを外す

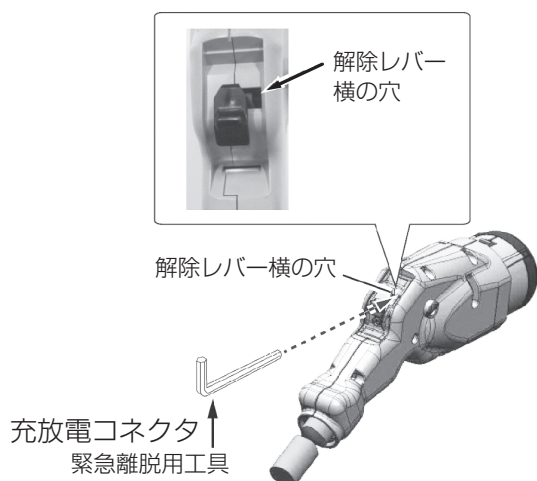


矢印の方向に回して外す

この操作（カバーを外す）を行うと、充放電コネクタは使用できなくなります。弊社による機能の回復（有償）が必要になります。

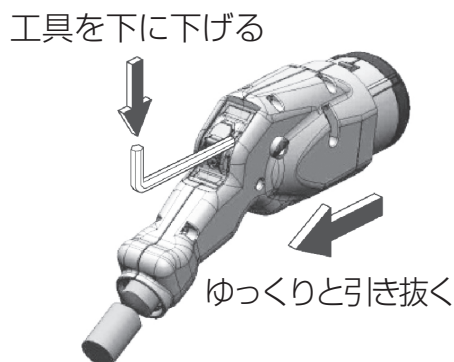
次ページへ続く

2 カバーを外した後、解除レバーの横の穴に充放電コネクタ緊急離脱工具を差し込む



奥まで差し込まないと取り出しができない場合があります。

3 充放電コネクタ緊急離脱工具を下げながら充放電コネクタをゆっくりと充電口から引き抜く



本工具を使用した場合は、充放電コネクタは利用できません。取り外し完了後は必ず販売会社にご連絡ください。

エラーコードが表示された

エラーコードが表示されたときは、次の表に従って処置してください。それでも回復しない場合は本製品の故障が考えられます。修理受付センターに連絡していただく際には、画面に表示されるエラーコードをご連絡ください。

エラーコードの内容と処置

エラーコード	処置
E1 ~ E6、E43、E92 ~ E97、E99、E103	ご使用を中止してお買い上げの販売店にご連絡ください。
E11、E101	非常停止スイッチを押し戻してください。
E7、E12、E17、E23 ~ E25、E28、E33 ~ E35、E65、E66、E82 ~ E87、E98、E108、E109、E114 ~ E117、E120 ~ E122、E129 ~ E182、E202	システムリセット（47 ページ）を行ってください。繰り返し発生する場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。
E16	本体側面排気口横のパネルを開けてブレーカを一度 OFF した後、ON してください。このとき、パネル内のコネクタや配線類に触れないようご注意ください。
E18 ~ E22	雪やゴミなどで吸排気口が塞がっていないかご確認ください。
E10、E13、E14、E15、E26、E27、E51 ~ E64、E69 ~ E81、E88 ~ E91、E100、E102、E104 ~ E107、E110 ~ E113、E118、E119、E123 ~ E128、E188 ~ E197	復帰しない場合はシステムリセット（47 ページ）を行ってください。繰り返し発生する場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。
E29	本体の電源が OFF、もしくは停電の状態です。本体専用漏電ブレーカーを ON にする（7 ページ）、もしくは、自立運転を開始してください。（36 ページ）

リモコンアプリでペアリングができない

リモコンアプリをルーター経由で使用する場合は、ブッシュ方式 WPS、DHCP 機能、(Wi-Fi 仕様の場合 802.11b/g/n 2.4GHz 帯)に対応したルーターが必要です。通信できる範囲は同じネットワーク (1 つのルーター) に接続されたスマートフォン (上限 4 台) です。ルーターによっては接続ができなかったり、設定変更が必要になる場合があります。

リモコンアプリが繋がらなくなった場合は、スマートフォンの Wi-Fi が ON になっているか、接続先が変わっていないかを確認してください。通信アダプタやルーターをリセットすると改善する場合があります。スマートフォンの機種によっては安定して接続ができなかったり、設定変更が必要になる場合があります。

ペアリングに失敗してしまう場合は、以下の内容を確認してください。

<直接接続で接続に失敗する場合>

- Android スマートフォンで Wi-Fi 設定に “r_adpt_xxxxxx (数字 6 ケタ)” のアクセスポイントが登録されている場合、そのアクセスポイントの設定を削除してから再試行してください。
- 繰り返しても失敗する場合、スマートフォンアプリの接続方式選択画面でルーター経由接続を選択して、通信アダプタの裏面に記載してあるアクセスポイント “r_adpt_xxxxxx (数字 6 ケタ)” とパスワードをスマートフォンの Wi-Fi 設定画面に手動入力して接続してください。

<通信アダプタからの応答がない場合>

- スマートフォンが通信アダプタと同じアクセスポイントに接続しているか確認してください。
- 通信アダプタの RESET ボタンを押してください。
- スマートフォンのモバイルデータ通信の設定を OFF にしてください。
 - 一部のスマートフォンはモバイルデータ通信の設定を ON にするとリモコンアダプタと通信アダプタと情報のやり取りができなくなります。
 - インターネット接続のあるルーターを使用してルーター経由接続を行うとモバイルデータ通信の設定を ON にしてもリモコンアプリを使用することができます。

<通信アダプタがペアリングモードになっていない場合>

- PAIR ボタンを 6 秒以上押して通信アダプタをペアリングモードにしてください。
- 直接接続モードの場合、スマートフォンが最も電波が強い通信アダプタに接続するために、近くに別の通信アダプタが存在する場合に使用できないことがあります。接続したい通信アダプタに近づいてください。

<ルーター接続の場合>

- ペアリングできないときは、お使いのスマートフォンの WiFi 設定に、ルーターの 2.4 GHz 帯のネットワーク SSID を設定してください。

リモコンアプリで表示ができない

通信アダプタとの通信ができない場合にアンテナアイコンが未接続または「通信アダプタの通信に失敗しました」ダイアログが表示されます。しばらく待っても回復しない場合は以下の内容を確認してください。



<スマートフォンの設定確認>

「設定」→「Wi-Fi」→「詳細設定」にて下記項目があれば設定する。

- 「ADAPTIVE WI-FI」→ OFF
- 「モバイルデータに切り替え」→ OFF
- 「スマートネットワーク切り替え」→ OFF
- 「ネットワーク自動切り替え」→ OFF
- 「Wi-Fi オート ON/OFF」→ OFF
- 「インテリジェント Wi-Fi」→ OFF
- 「Wi-Fi +」→ OFF
- 「モバイル /Wi-Fi 同時利用設定」→ OFF
- 「快適 Wi-Fi モード設定」→ OFF
- 「Wi-Fi 安定制御機能」→ OFF
- 「Wi-Fi 最適化」→ OFF
- 「Wi-Fi を自動的に ON にする」→ OFF
- 「接続不良のとき無効にする」→ OFF
- 「Wi-Fi 周波数帯域」→ 自動 または 2.4GHz のみ

直接接続またはルーター経由接続でもルーターがインターネットに接続されていない場合は以下も確認してください。
「設定」→「Wi-Fi」→接続先の SSID を長押し→「ネットワーク設定の変更」→「詳細設定項目」にて下記項目があれば設定する。

- 「インターネット非接続時も有効」→ ON

<ルーター経由接続の場合>

- 通信アダプタとルーターの接続を確認してください。
 - 通信アダプタの PWR LED と LINK LED が点灯していますか。
 - 通信アダプタと無線ルーターの距離が離れていませんか、障害物が無いですか。
 - 無線 LAN の電波を妨害する機器が動作していませんか。(電子レンジやほかの無線 LAN など)
 - 通信アダプタの切り替えスイッチは「ROUTER」になっていますか。(18 ページ)
 - スマートフォンの Wi-Fi は ON になっていて、通信アダプタが接続されているアクセスポイントに接続できていますか、電波が弱い表示になっていませんか。

<有線接続の場合>

- 通信アダプタとルーターの接続を確認してください。
 - 通信アダプタの PWR LED と LINK LED が点灯していますか。
 - 通信アダプタに LAN ケーブルが確実に接続されていますか。
 - スマートフォンの Wi-Fi は ON になっていて、通信アダプタが接続されているアクセスポイントに接続できていますか、電波が弱い表示になっていませんか。

<直接接続の場合>

- 通信アダプタの状態を確認してください。
 - 通信アダプタの PWR LED と LINK LED が点灯していますか。
 - 無線 LAN の電波を妨害する機器が動作していませんか。(電子レンジやほかの無線 LAN など)
 - 通信アダプタのスライドスイッチを「ROUTER」に設定した後、再度「DIRECT」に設定することで Wi-Fi のチャンネルを移動させることができます。(1 回ごとに 1ch → 2ch → 3ch と移動していきます。再通信可能になるまで 30 秒～ 60 秒かかります)
 - 他の無線 LAN で混み合っている場合は手動で空いているチャンネルに移動させてください。
 - 通信アダプタの切り替えスイッチは「DIRECT」になっていますか。
- スマートフォンの状態を確認してください。
 - スマートフォンの Wi-Fi は ON になっていて、通信アダプタ (スマートフォンの Wi-Fi 設定画面では “r_adpt_ xxxxxx (数字 6 ケタ)” と表示されます) に接続できていますか。
 - スマートフォンを通信アダプタの近くで動作させているか、電波が弱い状態になっていませんか。
 - 接続対象の通信アダプタよりも近くに別の通信アダプタが存在しませんか。

<上記を確認しても改善しない場合>

- 以下をお試しください。
 - スマホアプリを再起動してください。
 - 通信アダプタを再起動（通信アダプタの RESET スイッチを押す）してください。
→ RESET スイッチを押した後、再通信可能になるまで 30 秒～ 60 秒かかります。
 - 再ペアリング（通信アダプタの CLEAR ボタンを、すべての LED が 2 回点滅するまで（約 6 秒）長押しした後に、EVPS controller アプリの設定をやり直してください。（20 ページ）

HEMS から操作ができない

< WiFi ルーター経由接続の場合 >

- 通信アダプタとルーターの接続を確認してください。
 - 通信アダプタの PWR LED と LINK LED が点灯していますか。（18 ページ）
 - 通信アダプタと無線ルーターの距離が離れていませんか、障害物が無いですか。
 - 無線 LAN の電波を妨害する機器が動作していませんか。（電子レンジやほかの無線 LAN など）
 - 通信アダプタの切り替えスイッチは「ROUTER」になっていますか。（18 ページ）
- HEMS 連携機能設定が設定されていることを確認してください。
 - 通信アダプタの HEMS LED が点灯していますか。（40 ページ）

<通信アダプタ（有線接続）をご利用の場合>

- 通信アダプタとルーターの接続を確認してください。
 - 通信アダプタの PWR LED と LINK LED が点灯していますか。（18 ページ）
 - 通信アダプタのに LAN ケーブルがしっかり接続されていますか。
- HEMS 連携機能設定が設定されていることを確認してください。
 - 通信アダプタの HEMS LED が点灯していますか。（40 ページ）

<上記を確認しても改善しない場合>

- HEMS コントローラ側の設定を確認してください。詳細は HEMS コントローラの取扱説明書を確認してください。

保証とアフターサービス

保証について

保障内容については保証書に記載しています。
保証書はサービスの際に必要なになりますので、大切に保管してください。

お客様ご相談窓口

修理を依頼される時

本書の「こんなときは」にしたがって調べてもよくなる時は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。

故障、修理については・・・

お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。

当社または当社指定の取扱販売店以外で点検、修理、移動、分解した場合の故障および損傷または、製品の故障ではなかった場合は、保証期間内でも有料修理となります。

- 工事説明書に記載されていない方法や指定部品を用いないで施工され事故や故障が生じた場合は、責任を負いかねますので、必ず当社指定部品をご使用ください。
- 保証期間満了後の修理、補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後10年です。

保証期間がすぎているときは・・・

お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

- 工事説明書に記載されていない方法や、指定部品を用いないで施工され事故や故障が生じた場合は、責任を負いかねますので必ず当社指定部品をご使用ください。

取り扱いに関するお問い合わせは

お客様ご相談窓口


受付時間 9:00～17:00 [土・日・祝日を除く]

03-6367-3808

修理サービスに関するお問い合わせは

デンソー住宅製品修理受付センター

フリーダイヤル [365日 / 24時間受付]

 **0120-3838-21**

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

機器仕様

本体仕様

サイズ	W 809 × H 855 × D 337	
本体質量 ^{*1}	91kg	
ケーブル ^{*1}	7.5m	
充電部 (系統連系時)	電気方式	単相 3 線式
	定格電圧	AC202V
	定格周波数	50 または 60Hz
	出力電力 ^{*2}	6kW 未満
放電部 (家庭への給電) (系統連系時)	電気方式	単相 3 線式
	定格電圧	AC202V
	定格周波数	50 または 60Hz
	AC 出力電力 ^{*3}	6kW
放電部 (家庭への給電) (自立出力時)	電気方式	単相 3 線式
	定格電圧	AC202V
	定格周波数	50 または 60Hz
	AC 出力電力	6kVA 未満
EV 側電圧範囲	DC150 ~ 450V	
不要輻射 ^{*4}	VCCI class B 準拠	
IP 等級	IP46 (換気口は除く)	
設置環境 ^{*5}	設置条件	屋外、標高 2000m 以下
		-20℃ ~ 50℃
	動作温度	-20℃ ~ 40℃
周囲湿度	30% ~ 90% (結露なきこと)	
冷却方式 ^{*6}	強制空冷方式	
運転時騒音 ^{*7}	40dB-A	
操作	本体スイッチ + スマホによる操作 (専用アプリ, iOS/Android)	
表示 ^{*8}	7 セグメント表示器	
保証期間	5 年	

^{*1} 規格値ですので、実測値と異なる場合があります。

^{*2} 機器の入力値であり、実際の充電出力を保証している数値ではありません。契約電力や家庭での電力使用状況および車両の充電率によって異なります。

^{*3} 車両の状況により電力が低下する場合があります。

^{*4} 受信障害となる場合がありますので、ラジオ、テレビ、アマチュア無線等の電波を利用する機器とは 3m 以上離して設置してください。

^{*5} 岩礁隣接地域、重塩害地域、離島では使用できません。温泉等の腐食性ガスのある環境では、機器の動作に影響を及ぼす可能性があります。事前にご確認ください。

^{*6} 動作中は、本体内部ファンが動作音が発生します。壁との距離など、設置環境により、音の聞こえ方が異なることがあります。本体の内部温度が高くなると、本体の排気ファンが高速になり、作動音が大きくなる場合があります。また、高温時出力を制限する場合があります。

^{*7} JIS C1509-1 で規定する A 特性サウンドレベルを示します。製品正面中央から 1m、高さ 1m の距離での測定値です。

^{*8} 操作状況やデータを表示

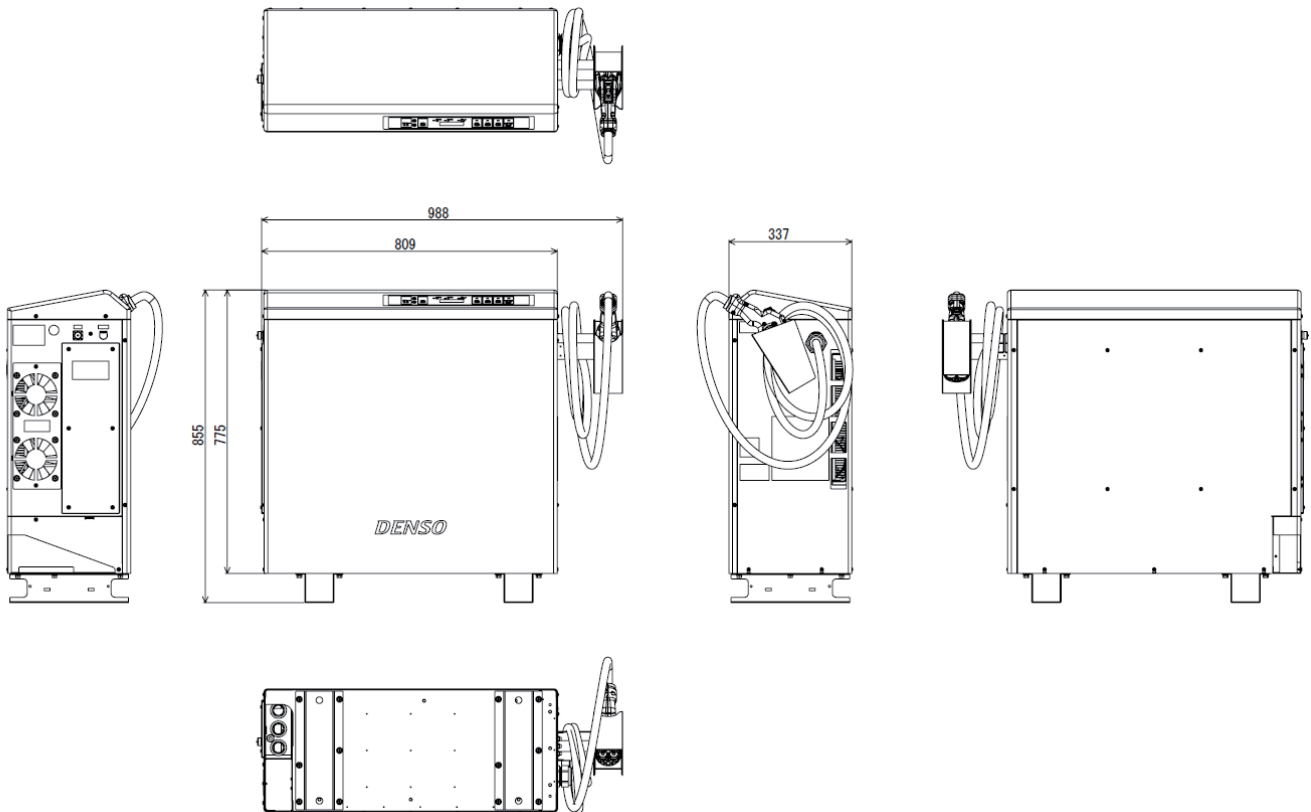
通信アダプタ仕様

外形寸法	W 100 × H 150 × D 45mm (アンテナ部および突起物除く)
本体質量	200g (付属壁掛けブラケット重量除く)

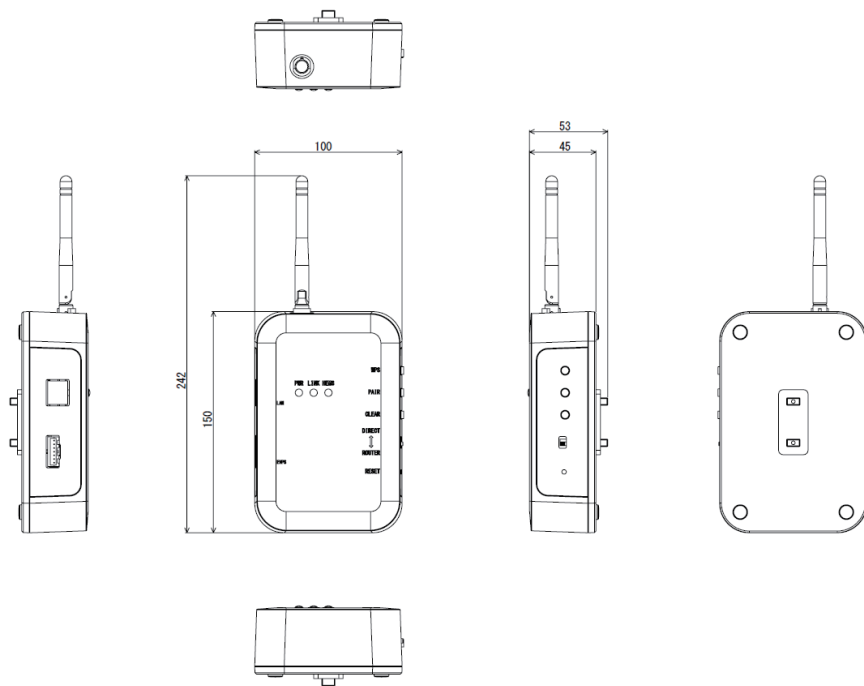
機器外観図

(数値単位は mm、ただし参考値)

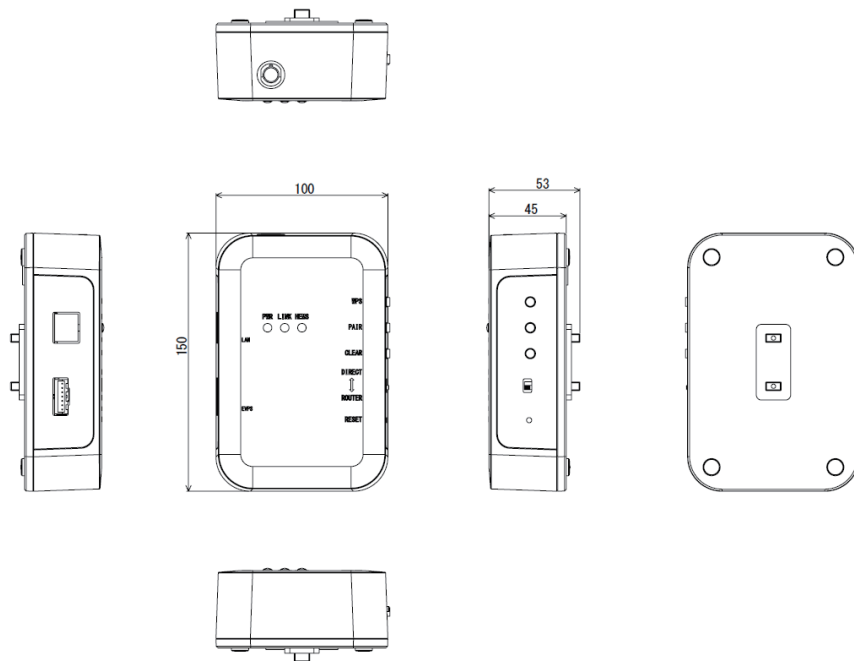
本体



通信アダプタ (無線接続タイプ)



通信アダプタ (有線接続タイプ)



商標および登録商標について

- ・ iOS® は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ・ Android™ は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- ・ ECHONET Lite は、エコーネットコンソーシアムの商標または登録商標です。
- ・ Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- ・ QR コードは、(株)デンソーウェーブの商標または登録商標です。

オープンソースライセンスについて

本製品 (EVPS Controller アプリ) の一部に以下に記載のオープンソースソフトウェアを使用しています。

PCLStorage
Copyright (c) 2014-2015 Daniel Plaisted
Microsoft Public License
対応するライセンス条件の全文を以下に記載します。

Microsoft Public License (Ms-PL)

This license governs use of the accompanying software. If you use the software, you accept this license. If you do not accept the license, do not use the software.

1. Definitions

The terms "reproduce," "reproduction," "derivative works," and "distribution" have the same meaning here as under U.S. copyright law.

A "contribution" is the original software, or any additions or changes to the software.

A "contributor" is any person that distributes its contribution under this license.

"Licensed patents" are a contributor's patent claims that read directly on its contribution.

2. Grant of Rights

(A) Copyright Grant- Subject to the terms of this license, including the license conditions and limitations in section 3, each contributor grants you a non-exclusive, worldwide, royalty-free copyright license to reproduce its contribution, prepare derivative works of its contribution, and distribute its contribution or any derivative works that you create.

(B) Patent Grant- Subject to the terms of this license, including the license conditions and limitations in section 3, each contributor grants you a non-exclusive, worldwide, royalty-free license under its licensed patents to make, have made, use, sell, offer for sale, import, and/or otherwise dispose of its contribution in the software or derivative works of the contribution in the software.

3. Conditions and Limitations

(A) No Trademark License- This license does not grant you rights to use any contributors' name, logo, or trademarks.

(B) If you bring a patent claim against any contributor over patents that you claim are infringed by the software, your patent license from such contributor to the software ends automatically.

(C) If you distribute any portion of the software, you must retain all copyright, patent, trademark, and attribution notices that are present in the software.

(D) If you distribute any portion of the software in source code form, you may do so only under this license by including a complete copy of this license with your distribution. If you distribute any portion of the software in compiled or object code form, you may only do so under a license that complies with this license.

(E) The software is licensed "as-is." You bear the risk of using it. The contributors give no express warranties, guarantees or conditions. You may have additional consumer rights under your local laws which this license cannot change. To the extent permitted under your local laws, the contributors exclude the implied warranties of merchantability, fitness for a particular purpose and non-infringement.

rda.SocketsForPCL
Copyright (c) 2015 Ryan Davis
The MIT License

sharpcaster.SocketsForPCL
Copyright (c) 2015 Ryan Davis
The MIT License

対応するライセンス条件の全文を以下に記載します。

The MIT License (MIT)

Copyright (c) 2015 Ryan Davis

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

SkiaSharp
Copyright (c) 2015-2016 Xamarin, Inc.
Copyright (c) 2017-2018 Microsoft Corporation.
The MIT License

SkiaSharp.Views
Copyright (c) 2015-2016 Xamarin, Inc.
Copyright (c) 2017-2018 Microsoft Corporation.
The MIT License

SkiaSharp.Views.Forms
Copyright (c) 2015-2016 Xamarin, Inc.
Copyright (c) 2017-2018 Microsoft Corporation.
The MIT License

対応するライセンス条件の全文を以下に記載します。

Copyright (c) 2015-2016 Xamarin, Inc.
Copyright (c) 2017-2018 Microsoft Corporation.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

V2H-充放電器保証書

商品名称・型番・シリアルNo.		販売店名・住所・電話番号	
保証期間 お引渡し日から 5年間		お引渡し年月日 年 月 日	
お客様	お名前 様		
	ご住所 〒 -		
	電話番号 (設置場所名称 :)		

本書は左記製品について、本記載内容に基づき無償修理をお約束するものです。

左記製品保証期間中に故障が生じた場合は、本書をご提示の上、本書記載の販売会社に修理をご依頼ください。
(下記の保証内容を必ずご覧ください。)

本書は再発行致しませんので紛失しないように大切に保管してください。

株式会社 デンソー

〒448-8661
愛知県刈谷市昭和町1-1

保証内容

お買い上げいただいた製品を当社の発行する取扱説明書、本体貼付ラベル表示等の注意書に従った正常な使用状態において、保証期間内に万一故障した場合は、無償で修理をさせていただきます。

ただし、本製品の損傷を原因として損害保険金および損害賠償金を受け取られた場合はこの限りではありません。

本製品の故障または使用により生じたお客様の直接、間接の損害につきましては、当社はその責を負いません。また、ご使用者様および関係者様の故意または重過失あるいは設置工事に起因する故障、損壊は除きます。

なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には別途費用を申し受けます。

1. 保証期間中であっても以下の場合には有償修理となります。

- 1) 本保証書のご提示がない場合
- 2) 本保証書所定事項の未記入あるいは字句訂正された場合
- 3) 取扱説明書、本体貼り付けラベルに記載された使用方法および使用条件、注意/警告表示を逸脱する誤った操作や扱いをされた場合
- 4) 取扱説明書に記載した設置環境の状態維持や日常点検を著しく怠ったことに起因する場合
- 5) 火災・地震・噴火・風水害・津波・落雷その他天災地変、公害、塩害、ガス害（硫黄分を含む温泉、火山ガスなど）による故障および損傷
- 6) 戦争、テロ、外來の事故またはその他不可抗力、ならびに虫、鳥、ネズミ等の動物起因などの外的要因による故障および損傷
- 7) 本製品に接続された他の機器に起因する故障および損傷
- 8) 経年変化または通常の使用により発生した変色、錆、傷、振動、音など
- 9) 設置後の場所の移動、落下・転倒による故障、損壊
- 10) 当社または当社指定業者以外による修理、調整、改造が行われた場合
- 11) 本製品に表示の使用電源（電圧・周波数）以外での使用
- 12) 重塩害地域、沖縄、離島（淡路島を除く）への設置
- 13) 第三者に転売、譲渡された場合
- 14) 一般住宅以外に使用された場合

2. その他

- 1) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 2) 本保証書によって製造者や販売者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 3) 修理等について不明点がありましたらご購入の販売店にお問い合わせください。
- 4) お客様情報につきましては、本製品ならびに関連製品やサービス活動のために利用させていただく場合があります。ご了承ください。

株式会社デンソー

本社 〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町 1-1

420006-0020 [2021.04]

TP1950DMNL01003